

平成 29 年度第 1 回練馬区立美術館運営協議会次第

日時：平成 29 年 11 月 24 日（金）午後 3 時

場所：サンライフ練馬 研修室

（審議事項）

- 1 平成 28 年度事業報告
 - （1）展覧会事業
 - （2）教育普及事業
 - （3）美術作品の収集事業
 - （4）施設利用状況
 - （5）ぐるっとパスの利用状況
 - （6）広報活動と反響

- 2 平成 29 年度事業計画
 - （1）展覧会事業
 - ① 19 世紀パリ時間旅行展
 - ② 太齋春夫展
 - ③ 藤島武二展
 - ④ 麻田浩展
 - ⑤ 小野木学展
 - ⑥ 野見山暁治展
 - ⑦ サヴィニャック展
 - （2）教育普及事業（中間報告）

- 3 その他

平成29年度

第1回 練馬区立美術館運営協議会

練馬区立美術館

(平成29年11月24日)

平成 29 年度第 1 回練馬区立美術館運営協議会資料 目次

練馬区立美術館運営協議会委員名簿	1
練馬区立美術館運営協議会条例	3
1 平成 28 年度事業報告	
(1) 展覧会事業	5
(2) 教育普及事業	
①平成 28 年度教育普及事業実績	7
②平成 28 年度博物館実習受入実績	16
③平成 28 年度美術館サポーター活動実績	17
(3) 美術作品の収集事業	
①平成 28 年度美術作品の収蔵状況	18
②平成 28 年度練馬区立美術館寄贈・寄託リスト	19
②平成 28 年度収蔵品貸出一覧	26
③美術館収蔵品データベースに対する反響	27
(4) 施設利用状況	28
(5) ぐるっとパスの利用状況	29
(6) 広報活動と反響	30
2 平成 29 年度事業計画	
(1) 展覧会事業	37
①19 世紀パリ時間旅行展	38
②太齋春夫展	39
③藤島武二展	40
④麻田浩展	41
⑤小野木学展	42
⑥野見山暁治展	43
⑦サヴィニャック展	44
(2) 教育普及事業 (中間報告)	45

第 16 期 練馬区立美術館運営協議会委員名簿

		氏 名	役 職
学識経験者	委員	あわづ のりお 粟津 則雄	文芸評論家
	委員	たかはし こうじ 高橋 幸次	日大芸術学部美術学科教授
	委員	あおき しげる 青木 茂	明治美術学会会長
	委員	いずい ひでかず 伊豆井 秀一	埼玉県立近代美術館 元専門員兼学芸員
	委員	さとう やすひろ 佐藤 康宏	東京大学教授
	委員	しまだ のりお 島田 紀夫	実践女子大学名誉教授
	委員	ないとう まさと 内藤 正人	慶応義塾大学教授
練馬区議会議員	委員	かさハラ こうぞう 笠原 こうぞう	区議会議員
	委員	はしもと けいこ 橋本 けいこ	区議会議員
	委員	いわせ たけし 岩瀬 たけし	区議会議員
	委員	やまだ かずよし 山田 かずよし	区議会議員
公募区民	委員	まえだ ひさこ 前田 尚子	公募区民
	委員	すどう あさよ 須藤 麻世	公募区民
	委員	さいとう のりこ 齋藤 宜子	公募区民
美術団体関係者	委員	よしだ みぞう 吉田 巳藏	練馬・文化の会代表
	委員	しまだ こういちろう 島田 紘一呂	練馬区美術家協会 会長
学校教育関係者	委員	えがわ さとし 江川 誠志	三原台中学校長
	委員	たまおき かずひと 玉置 一仁	光が丘第八小学校教諭

練馬区立美術館運営協議会条例

昭和60年10月8日

条例第45号

(設置)

第1条 練馬区立美術館（以下「美術館」という。）の運営方針および事業計画を協議するため、練馬区立美術館運営協議会（以下「協議会」という。）を置く。

(所掌事項)

第2条 協議会は、区長の諮問に応じてつぎに掲げる事項について審議し、答申する。

- (1) 美術館の運営方針に関すること。
- (2) 美術館の事業計画に関すること。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、区長が必要と認める事項

2 協議会は、前項各号に掲げる事項について、区長に意見を述べることができる。

(定数)

第3条 協議会は、委員19人以内をもって組織する。

(委員)

第4条 委員は、つぎの各号に定めるところにより、区長が委嘱する。

- (1) 学識経験者 8人以内
- (2) 練馬区議会議員 4人以内
- (3) 区民 3人以内
- (4) 美術団体関係者 2人以内
- (5) 学校教育関係者 2人以内

2 前項第3号に規定する区民は、公募により選任するものとする。

(任期)

第5条 委員の任期は、2年とする。ただし、委員に欠員が生じた場合における補充委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(会長および副会長)

第6条 協議会に会長および副会長を各1人置く。

2 会長および副会長は、委員が互選する。

3 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第7条 協議会は、会長が招集する。

2 協議会は、委員の半数以上の出席がなければ、会議を開くことができない。

3 会議の議長は、会長が務める。

4 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

5 会長は、必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させ、意見を聴くこ

とができる。

(部会)

第8条 協議会は、第2条第1項に規定する事項について調査検討を行うため、部会を置くことができる。

2 部会は、会長の指名する委員をもって組織する。

3 部会は、協議会の求めがあったときは、必要な事項を報告しなければならない。

(庶務)

第9条 協議会の庶務は、地域文化部において処理する。

(委任)

第10条 この条例の施行について必要な事項は、練馬区規則で定める。

付 則

この条例は、公布の日から施行する。

付 則 (平成23年12月条例第53号)

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

付 則 (平成26年12月条例第49号)

この条例は、平成27年4月1日から施行する。

1 平成28年度 事業報告

(1) 展覧会事業

平成28年度 展覧会事業日程および観覧者数

(ア) 企画展等

開催期間	展覧会	開催日数	観覧者目標 (1日当り)	観覧者実数 (1日当り)	目標比 (%)
4月17日(日) ～6月5日(日)	没後50年“日本のルソー”横井弘三の世界展	43	7,955 (185)	6,637 (154)	83.4%
7月3日(日) ～9月4日(日)	しりあがり寿の現代美術 回・転・展	55	11,000 (200)	11,682 (212)	106.2%
9月18日(日) ～11月13日(日)	「朝井閑右衛門展 空想の饗宴」	49	13,500 (276)	5,571 (114)	41.3%
11月19日(土) ～2月12日(日)	栗津則雄コレクション展 “思考する眼”の向こうに	69	8,970 (130)	4,626 (67)	51.6%
2月23日(木) ～4月9日(日)	田沼武能肖像写真展 時代を刻んだ貌	40	7,200	5,597	77.7%
	お蔵出し！練馬区立美術館コレクション展		(180)	(140)	
	合 計	256	48,625 (190)	34,113 (133)	70.2%
	前年度	259	70,840 (274)	100,216 (387)	前年度比 34.0%

(イ) 2階常設展示室によるコレクション展

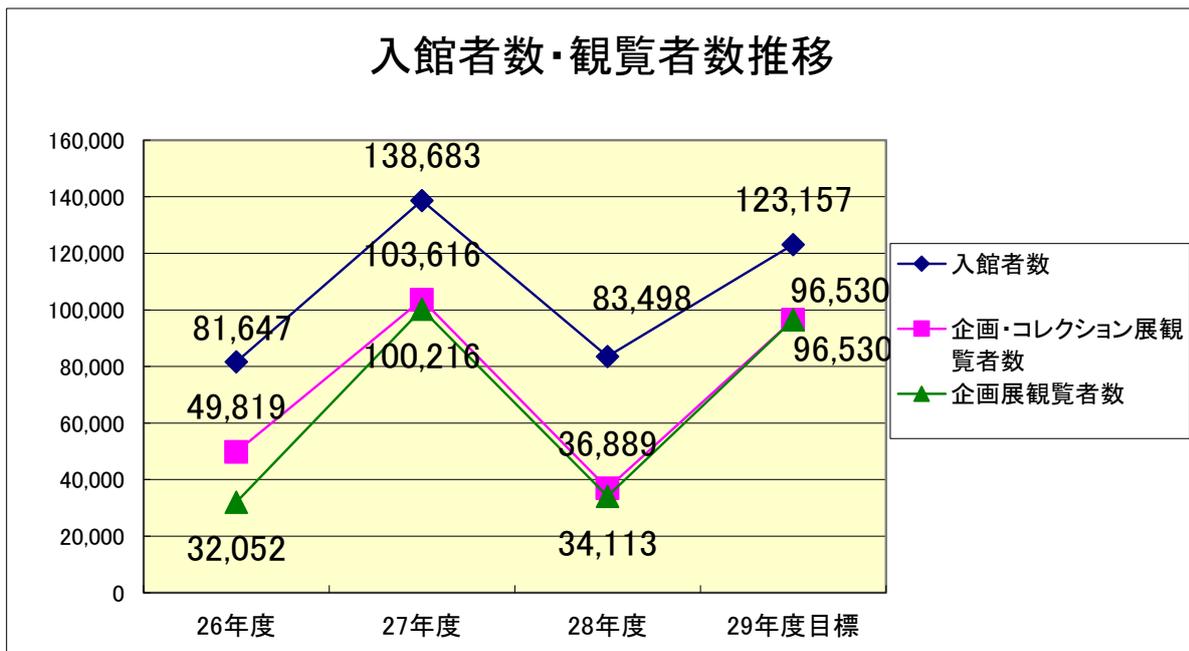
開催期間	展覧会	開催日数	観覧者目標 (1日当り)	観覧者実数 (1日当り)	目標比 (%)
6月10日(金) ～6月26日(日)	練馬区立美術館コレクション展 シリーズ時代と美術3 「1990～2000年代 辰野登恵子《Untitled92-8》を中心に	15	2,250 (150)	2,776 (185)	123.4%
	合 計	15	2,250 (150)	2,776 (185)	123.4%
	前年度	34	観覧者数 1日当り	3,400 (100)	前年度比 81.6% 185.0%

企画展・コレクション展観覧者数(実数)比較	27年度	28年度	前年度比
	103,616	36,889	35.6%

(ウ) 各種展覧会

開催期間	展覧会	開催日数	観覧者実数 (1日当り)	
6月10日(金) ～6月19日(日)	第62回練馬区美術家協会展	9	1,855 (206)	
1月14日(土) ～1月18日(水)	中学校生徒作品展	4	3,423 (856)	
1月21日(土) ～1月26日(木)	小学校連合図工展	5	8,706 (1,741)	
1月28日(土) ～1月29日(日)	小・中学校連合書初め展	2	10,308 (5,154)	
2月4日(土) ～2月12日(日)	第48回練馬区民美術展	8	2,335 (292)	
合 計		28	26,627 (951)	前年度比 94.3%
前年度		28	28,230 (1008)	

入館者数比較	27年度	28年度	前年度比
	138,683	83,498	60.2%



(2)教育普及事業

①平成28年度 教育普及事業実績

平成29年3月現在

館内事業

I) 展覧会関連 (各展覧会を楽しむ)

① 関連ワークショップ・講座

事業名	日程	講師	内容	対象	参加費	定員	申込	参加	
横井弘三展 関連ワークショップ	はがきサイズの焼き絵に挑戦！【A】	4月17日(日) 10:30~12:30	加藤 雄三 金澤 鮎香 (白光株式会社)	展覧会鑑賞後、横井も用いていた焼き絵の技法を体験し、葉書サイズの作品を制作した。	小学3年生以上	1300	12	9	8
	はがきサイズの焼き絵に挑戦！【B】	4月17日(日) 14:30~16:00					12	11	8
	修正液で版画ができる!?短時間でつくるスピード木版画【A】	4月24日(日) 10:30~12:30	田嶋 健 (版画家)	展覧会鑑賞後横井の「美ニ入る版画」を参考に講師が考案した修正液での版画を制作した。	小学生以上	500	15	13	15
	修正液で版画ができる!?短時間でつくるスピード木版画【B】	4月24日(日) 14:30~16:00					15	13	12
しりあがり寿展 関連ワークショップ	回転工作☆身近な材料で回る仕組みを作ってみよう【A】	8月5日(金) 10:30~12:30	真子 みほ (当館学芸員)	展覧会鑑賞後、紙コップと針金で、回転台を作った。	小学生	300	15	30	15
	回転工作☆身近な材料で回る仕組みを作ってみよう【B】	8月5日(金) 14:00~16:00					15	17	14
	回転工作☆身近な材料で回る仕組みを作ってみよう【C】	8月6日(土) 10:30~12:30					15	24	16
	回転工作☆身近な材料で回る仕組みを作ってみよう【D】	8月6日(土) 14:00~16:00					15	9	9
	回るものにはなにがある?みんなで作る回転オブジェ【A】	8月7日(日) 10:30~12:30	しりあがり寿 (漫画家)	展覧会鑑賞後、「身の回りにある回転するもの(タイヤ、時計、観覧車など)を考え、その中から好きなものを様々な素材で立体的に制作した。その後皆の作品を一つの回転する塑像台にオブジェとして組み上げ、ひとつの作品を作った。	小学生	100	10	10	6
	回るものにはなにがある?みんなで作る回転オブジェ【B】	8月7日(日) 14:00~16:00					10	6	5
	回るものにはなにがある?みんなで作る回転オブジェ【C】	8月12日(金) 10:30~12:30					10	13	6
	回るものにはなにがある?みんなで作る回転オブジェ【D】	8月12日(金) 14:00~16:00					10	8	6
	グルグル描こう!回っているモノ、見ているヒト。	8月13日(土) 13:30~17:00			小学生以上	300	15	113	15
	朝井閑右衛門展 関連イベント	アトリエ訪問【A】	10月15日(土) 10:00~	喜寿孝臣 (当館学芸員)	鎌倉市由比ガ浜に残る朝井のアトリエを訪問し、ご遺族よりアトリエ内のご案内をしていただいた。	中学生以上	交通費 保険料 実費	15	11
アトリエ訪問【B】		10月15日(土) 14:00~	15					12	12
朝井閑右衛門展 関連ワークショップ	丘の上を踊ろう【A】	10月2日(日) 10:30~12:30	新鋪 美佳 (ほうほう堂)	ウォーミングアップ後、「丘の上」を鑑賞し、描かれた人々のポーズから動きを作る。最後は手足に絵具をつけ、絵から連想する色や動きで大きな紙に軌跡を描いた。	4~6歳の未就学児+保護者	展覧会 観覧料	5組	4組 8名	3組 6名
	丘の上を踊ろう【B】	10月2日(日) 14:00~16:00					5組	4組 8名	3組 6名
	丘の上を踊ろう【C】	10月16日(日) 10:30~17:00			小学生以上	15	10	18	
朝井閑右衛門展 関連美術講座	油彩「厚塗り入門」	11月5日(土)~6日(日) 10:30~17:00 【2日制】	三浦 高宏 (画家)	展覧会鑑賞後、朝井のようにたつぷりと絵具を使って描く方法をレクチャーいただき、薔薇の花を描いた。	中学生以上	3000	15	18	18

栗津コレクション展 関連美術講座	版画「銅版画を作ろう エッチング+ドライポ イント」	1月28日(土) ～29日(日) 10:30～17:00 【2日制】	岡 さなえ (版画家)	展覧会鑑賞後、各自用意した下絵を元にエッチングとドライポイントの技法で作品制作を行った。	中学生以上	3000	15	40	34
田沼武能展 関連美術講座	「フィルムカメラで写真制作体験-肖像写真撮影と暗室作業」	3月18日(土) ～19日(日) 10:30～17:30 【2日制】	鈴木孝史 (日本大学教授・芸術学部写真学科)	展覧会鑑賞後、館内で参加者同士がモデルとなり撮影を行った。1日目の午後から日芸江古田校舎に移動し現像からプリント作業まで行った。(ふるさと文化館分室との共同事業)	中学生以上	4000	20	19	19
コレクション展 関連 貫井図書館×練馬区立美術館 ワークショップ	「ちょっとだけ学芸員！自分だけの展覧会をプロデュースしよう」	2月26日(日) 13:30～16:00	貫井図書館職員 真子みほ (当館学芸員)	展覧会鑑賞後、当館所蔵品カードから好きな作品を見つけ、図書館司書のレファレンスのもと調査をし、簡単な展覧会企画を作成した。	小学生以上	展覧会観覧料	20	11	11
									269

計22回 参加者延269名

② ギャラリートーク

事業名	日程	スピーカー	内容	対象	参加費	定員	申込	参加	
横井弘三展	5月22日(日)	黒田弘志、羽田睦美(横井弘三のとオモチャン会会員)	横井弘三とオモチャン会会員のお二人から、作品を見ながらお話を頂いた。	—	展覧会観覧料	—	—	54	
	4月28日(木)	喜多 孝臣 (当館学芸員)	担当学芸員によるギャラリートーク	—	展覧会観覧料	—	—	28	
	5月26日(木)							26	
コレクション展	6月18日(土) 15:00～15:30		担当学芸員によるギャラリートーク	—	無料	—	—	45	
しりあがり寿展	7月14日(木) 15:00～15:30	真子 みほ (当館学芸員)	担当学芸員によるギャラリートーク	—	展覧会観覧料	—	—	16	
	8月18日(木) 15:00～15:30							—	展覧会観覧料
朝井閑右衛門展	10月6日(木) 15:00～	喜多 孝臣 (当館学芸員)	担当学芸員によるギャラリートーク	—	展覧会観覧料	—	—	23	
	10月27日(木) 15:00～							—	展覧会観覧料
栗津コレクション展	12月8日(木) 15:00～	加藤 陽介 (当館学芸員)	担当学芸員によるギャラリートーク	—	展覧会観覧料	—	—	12	
	2月9日(木) 15:00～							—	展覧会観覧料
田沼武能展	3月9日(木) 15:00～	多田 亜生(編集者) 若林 覚(当館館長)	ゲストを交えたギャラリートーク	—	展覧会観覧料	—	—	36	
コレクション展	2月25日(土) 15:00～16:30	若林 覚 (当館館長)	各ゲストの練馬区立美術館での思い出や思い入れのある作品を、視聴覚室と、実際の作品の前でお話いただいた。	中学生以上	展覧会観覧料	70	19	35	
	3月4日(土) 15:00～16:30	根崎 光男 (法政大学人間環境学部教授)		中学生以上	展覧会観覧料	70	15	16	
	3月25日(土) 15:00～16:30	土方 明司 (平塚市美術館館長代理)		中学生以上	展覧会観覧料	70	22	36	
									397

計13回 参加者延397名

③ 講演会、シンポジウム等

事業名	日程	講師・パネリスト	内容	対象	参加費	定員	申込	参加	
横井弘三展 対談	「横井弘三じいちゃん の絵のはなし」	5月14日(土) 15:00～	スズキコージ (絵本画家) 土井章史 (絵本編集者)	横井弘三の絵が好きというお二人に、その魅力を語っていただいた。(於視聴覚室 貴井図書館協力)	中学生以上	展覧会 観覧料	70	93	76
横井弘三展 講演会	「横井弘三の素朴 絵」	6月4日(土) 15:00～	矢島 新 (跡見学園女子大 学教授)	横井の人とその作品について、「素朴絵」というキーワードから紐解きお話していただいた。(於視聴覚室)	中学生以上	展覧会 観覧料	70	55	55
しりあがり寿展 対談	「しりあがり寿×祖父 江慎」	7月16日(土) 15:00～	しりあがり寿 (漫画家) 祖父江慎 (デザイナー)	しりあがり寿氏と、盟友祖父江慎氏との対談。しりあがり氏の漫画の装丁を中心にお話いただいた。	中学生以上	展覧会 観覧料	70	264	75
朝井閑右衛門展 記念講演会	「《丘の上》から中国 へ」	10月1日(土) 15:00～16:30	原田 光 元岩手県立美術 館館長)	朝井の作品と人となりについてお話いただいた。(於視聴覚室)	中学生以上	無料	70	37	42
粟津コレクション 展 講演会	「絵とのつきあい」	12月3日(土) 15:00～16:30	粟津 則雄 (評論家)	今回展示されたコレクションの形成の過程や交友のあった作家たちについてお話いただいた。(於視聴覚室)	中学生以上	展覧会 観覧料	70	93	76
田沼武能展 講演会	「わが心の残像」	3月26日(日) 15:00～	田沼 武能 (写真家)	展示された作品の被写体である多くの著名人や自身の写真家人生の思い出についてお話いただいた。(於視聴覚室)	中学生以上	展覧会 観覧料	70	186	76
									400

計6回 参加者延400名

④ コンサート・ライブパフォーマンス

事業名	日程	出演	内容	対象	参加費	定員	申込	参加
横井弘三展記念コンサート	5月15日(日) 15:00～	佐橋美起(ソプラノ)、多田直子(ピアノ)		—	展覧会 観覧料	—	—	96
横井弘三展関連 読み語り	5月21日(土) 15:00～16:30	銀河 万丈(声優)	横井弘三展に合わせた読み語り(貴井図書館共同主催)	中学生以上	展覧会 観覧料	70	67	67
しりあがり寿展関連 読み語り	8月28日(日) 15:00～16:30	銀河 万丈(声優)	しりあがり寿展に合わせた読み語り(貴井図書館共同主催)	中学生以上	展覧会 観覧料	70	92	77
朝井閑右衛門展関連 読み語り	11月5日(土) 15:00～16:30	銀河 万丈(声優)	朝井展に合わせた読み語り(貴井図書館共同主催)	中学生以上	展覧会 観覧料	70	38	44
朝井閑右衛門展記念コンサート	10月22日(土) 15:00～	羽川 真介(チェロ)、渚 智佳(ピアノ)		—	展覧会 観覧料	—	—	97
粟津コレクション展特別コンサート	12月17日(土) 18:20～19:30	西江辰郎(ヴァイオリン)、坂野伊都子(ピアノ)		中学生上	1000	50	60	52
田沼武能展記念コンサート	3月5日(日) 15:00～	新美 友紀(ヴァイオリン)、浜崎佳恵(チェロ)、小島慶子(ピアノ)		—	展覧会 観覧料	—	—	182
								615

計7回 鑑賞者延615名

⑤ 鑑賞プログラム

事業名		日程	講師	内容	対象	参加費	定員	申込	参加
コレクション展	トコトコ美術館【A】 vol.17「くだもの」	6月11日(土) 10:30～11:30	真子 みほ (当館学芸員)	展示室で「くだもの」を描いた作品を見つけ、絵本『くだもの』を読み、様々な材料をコラージュして画用紙にくだものを描いた。	3～6歳 +保護者 (子ども1～2名+保護者1名)	無料	各回 5組	8組 17名	5組 11名
	トコトコ美術館【B】 vol.17「くだもの」	6月11日(土) 14:00～15:00						8組 17名	5組 10名
	トコトコ美術館【C】 vol.17「くだもの」	6月12日(日) 10:30～11:30						18組 35名	4組 8名
	トコトコ美術館【D】 vol.17「くだもの」	6月12日(日) 14:00～15:00						7組 15名	5組 10名
	トコトコ美術館【E】 vol.17「くだもの」	6月19日(日) 10:30～12:00						17組 35名	5組 10名
	トコトコ美術館【F】 vol.17「くだもの」	6月19日(日) 14:00～15:30						12組 24名	5組 9名
しりあがり展	トコトコ美術館【A】 vol.18「かいてん」	7月30日(金) 10:30～12:00	真子 みほ (当館学芸員)	展示室で回転しているものを鑑賞しながら廊下に出て絵本『くるくるまわる』を読み聞かせした。その後創作室へ移動し折り紙や厚紙でかざぐるまとコマを制作した。	3～6歳 +保護者 (子ども1～2名+保護者1名)	無料 ※ただし保護者は当日の観覧券が必要	各回 5組	9組 19名	4組 8名
	トコトコ美術館【B】 vol.18「かいてん」	7月31日(土) 14:00～15:30						7組 15名	4組 8名
	トコトコ美術館【C】 vol.18「かいてん」	7月31日(土) 10:30～12:00						12組 24名	5組 10名
	トコトコ美術館【D】 vol.18「かいてん」	7月31日(土) 14:00～15:30						13組 26名	5組 10名
朝井閑右衛門展	あかちゃん鑑賞会【A】	10月9日(日) 10:30～12:00	富田めぐみ (NPO赤ちゃんからのアートフレンドリーシップ協会)	赤ちゃんの反応を楽しみながら家族で展覧会鑑賞を行った。鑑賞の前後にはレクチャーを行った。	0～2歳の赤ちゃんとその家族	無料 ※ただし保護者は当日の観覧券が必要	各回 20名	27	14
	あかちゃん鑑賞会【B】	10月9日(日) 13:30～15:00						16	15
栗津コレクション展	トコトコ美術館【A】 vol.19「はなが」	1月21日(土) 10:30～12:00	真子 みほ (当館学芸員)	栗津展を鑑賞しながら版画ではない作品を探し、版画との違いを説明したあと絵本『銅版画家の仕事場』の絵を皆で見、創作室で紙版画を作った楽しんだ。	3～6歳 +保護者 (子ども1～2名+保護者1名)	無料 ※ただし保護者は当日の観覧券が必要	各回 5組	14組 29名	5組 10名
	トコトコ美術館【B】 vol.19「はなが」	1月21日(土) 14:00～15:30						6組 12名	4組 8名
	トコトコ美術館【C】 vol.19「はなが」	1月22日(日) 10:30～12:00						11組 23名	5組 11名
	トコトコ美術館【D】 vol.19「はなが」	1月22日(日) 14:00～15:30						10組 23名	4組 8名
コレクション展	トコトコ美術館【A】 vol.21「花」	3月11日(土) 10:30～12:00	真子 みほ (当館学芸員)	コレクション展を鑑賞しながら花を描いた作品を見つけ、絵本『はなのうた』を読んだ後で創作室に移り、色画用紙で花になるアイテムを作った。	3～6歳 +保護者 (子ども1～2名+保護者1名)	無料 ※ただし保護者は当日の観覧券が必要	各回 5組	14組 29名	4組 9名
	トコトコ美術館【B】 vol.21「花」	3月11日(土) 14:00～15:30						6組 12名	3組 6名
	トコトコ美術館【C】 vol.21「花」	3月26日(日) 10:30～12:00						11組 23名	4組 8名
	トコトコ美術館【D】 vol.21「花」	3月26日(日) 14:00～15:30						10組 23名	5組 12名
									195

計20回 参加者延195名

II) 美術講座 (美術に関する知識を学ぶ)

事業名		日程	講師	内容	対象	参加費	定員	申込	参加
製本	「糸綴じ・革表紙のノートを作る」	12月17日(土) ～18日(日) 13:30～17:00 【2日制】	レ・フラグマン・ドゥ・エム (製本ユニット)	中世ヨーロッパの製本のエッセンスを取り入れた革表紙のノートを作成した。	中学生以上	2000	16	83	15
美術解剖学	「骨と美術—美術解剖学からのドローイングのポイント講義」	3月12日(日) 15:00～16:30	宮永 美知代 (東京藝術大学助教)	美術解剖学の歴史をお話いただき、参加者自身の身体をさわりながらドローイングのポイント、構造を意識することについてお話いただいた。	中学生以上	無料	50	50	47
									62

計2回 参加者延62名

Ⅲ) 美術館を楽しむワークショップ(人が集う「場」作り)

事業名	日程	講師	内容	対象	参加費	定員	申込	参加		
四季のみじたく29	夏のみじたく「白樺樹皮で編む葉/プレスレット作り」【A】	7月24日(日) 11:00～13:00	ユージ (白樺かごの工芸家)	白樺の樹皮を15センチほどに編み、葉またはプレスレットに仕上げた。	小学4年生以上	500	10	20	9	
	夏のみじたく「白樺樹皮で編む葉/プレスレット作り」【B】	7月24日(日) 14:30～16:30					10	21	10	
美術館をつかまえる!館内探検とフロッタージュ遊び【A】	8月19日(金) 10:30～12:00	真子 みほ (当館学芸員)	バックヤードを巡りながらいくつかの箇所では色鉛筆でフロッタージュをし、さまざまな場所を「採集」する。探検から戻ったら採集した紙を糸糸で綴じ標本として持ち帰った。	5歳～ 小学2年生	100	10	17	8		
美術館をつかまえる!館内探検とフロッタージュ遊び【B】	8月19日(金) 14:00～15:30					10	6	4		
美術館をつかまえる!館内探検とフロッタージュ遊び【C】	8月20日(土) 10:30～12:00					10	16	7		
美術館をつかまえる!館内探検とフロッタージュ遊び【D】	8月20日(土) 14:00～15:30					10	10	6		
四季のみじたく30	秋のみじたく「カラフル!秋色のろう引き紙をつくろう」	9月24日(土) 10:30～16:00	中澤 季絵 (イラストレーター)	秋を連想するものを持ち寄り、コピー用紙に様々な絵を描き蝋燭の粉とアイロンでろう引き紙に仕立てた。	小学4年生以上	500	15	21	15	
四季のみじたく31	冬のみじたく「ことばであそぶ なぞなど、詩、童謡作り」【A】	10月30日(日) 10:30～12:30	しおいりあさこ (作家)	冬に家でできる言葉の遊びを考える。詩にタイトルをつけたり欠けた言葉を考えたり、しながら言葉で遊んだ。	小学3年生以上	1000	10	5	5	
	冬のみじたく「ことばであそぶ なぞなど、詩、童謡作り」【B】	10月30日(日) 14:00～16:00					10	7	8	
四季のみじたく32	春のみじたく「身近なものでアクセサリー」	3月20日(月祝) 13:30～16:00	yanase rei (ジュエリー作家)	スプーンや安全ピン、紙など、身近な材料でアクセサリーを作った。	小学4年生以上	800	15	7	7	
										79

計10回 延79名

Ⅳ) その他

事業名	日程	講師	内容	対象	参加費	定員	申込	参加	
東近美とのワークショップ ※オールジャパン工芸連携京都東京金沢実行委員会事務局主催	【A】1月15日(日) 10:30～12:00	東京国立近代美術館工芸館スタッフ	中世ヨーロッパの製本のエッセンスを取り入れた革表紙のノートを作成した。	3歳～ 小学2年生 +保護者	無料	8組	38組 87名	7組 15名	
	【B】1月15日(日) 13:30～15:00			小学3年生以上		20	27	19	
									34

計2回 参加者延34名

館内事業計82回 参加者延2051名

学校関連事業

I) スクールプログラム

4月にパンフレットを作成し区内小中高等学校に配布。申し込みの際は用紙に記入し送付していただいた。

① 団体鑑賞

展覧会	日程	内容	学校名	生徒数	引率
横井弘三展	5月5日(木) 16:00～18:00	施設見学後展示室内で展覧会解説	明星大学日本文化学科	17	2
コレクション展	6月16日(木) 10:55～11:35	6月15日の出張プログラムでのレクチャーを踏まえたうえで自由鑑賞。ワークシート学校制作	山崎学園富士見中学校・2年菊組	243	9
	6月16日(木) 11:55～12:35		山崎学園富士見中学校・2年梅組		
	6月16日(木) 13:30～14:10		山崎学園富士見中学校・2年竹組		
	6月17日(金) 14:30～15:10		山崎学園富士見中学校・2年松組		
	6月21日(火) 13:30～14:10		山崎学園富士見中学校・2年桃組		
	6月21日(火) 14:30～15:10		山崎学園富士見中学校・2年桜組		
	6月18日(土) 10:00～11:30		施設見学後展示室内で展覧会解説		
しりあがり寿展	7月15日(金) 10:00～11:00	創作室でのお話と自由鑑賞	練馬区立開進第四小学校・5年生	73	4
	8月25日(木) 10:00～12:00	施設見学後展示室内で展覧会解説	練馬区立南が丘中学校・創作部	15	2
朝井閑右衛門展	10月4日(火) 15:15～16:30	施設見学後展示室内で展覧会解説	東京造形大学・博物館学履修生	15	1
	10月12日(水) 10:00～11:00	創作室での話の後、展示室で皆で1点作品鑑賞。その後自由鑑賞	豊島区立長崎小学校・4年生	47	5
	10月19日(水) 10:00～12:00	NPO法人アルダによる対話型鑑賞プログラム	西東京市立保谷第一小学校・4年生	73	25
	10月26日(水) 10:30～11:30	バックヤード見学の後、展覧会鑑賞を行った。	ベネッセ氷川台保育園・年長児	10	3
	10月29日(土) 10:30～11:30	施設見学後展示室内で展覧会解説	武蔵大学・博物館経営論、博物館資料論履修生	23	1
コレクション展	2月28日(火) 9:30～11:30	所蔵品カードでゲームをした後、展覧会を鑑賞した。	練馬区立豊玉小学校・6年生	70	4
	3月8日(水)	事前事業を受けて、自分が選んだ作品を見つけ、鑑賞した。	練馬区立貫井中学校・2年A組	80	1
	3月9日(水)		練馬区立貫井中学校・2年B組		1
	3月10日(水)		練馬区立貫井中学校・2年C組		1
	3月9日(水) 13:30～15:00	美術館の話をした後、自由鑑賞とした。	練馬区立大泉第一小学校・5年生	70	4
				748	64

計20回 延748名

② 施設見学 各学校の学習目的に合わせて館内(バックヤードを含む)を案内し、施設を紹介した。

コース名	日程	内容	学校名	生徒数	引率
施設見学	5月10日(火) 13:30~14:30	バックヤード見学と展示室の設備紹介。展覧会は自由鑑賞。	日本大学芸術学部・博物館実習履修生	28	1
	7月18日(月祝) 10:00~11:00		東京造形大学・博物館学履修生	10	1
	7月23日(土) 16:00~17:00		東洋美術学校・博物館展示論履修生	9	1
	8月30日(火) 10:00~12:00	—	練馬区立貫井中学校・美術部	台風のため中止	
	11月1日(火) 14:00~14:30	子どもたちの質問に担当が答える時間の後、バックヤード見学と展覧会鑑賞。	練馬区立練馬第三小学校・かしわ学級	6	2
	12月10日(土) 10:30~11:30	バックヤード見学と展示室の設備紹介。展覧会は自由鑑賞。	武蔵大学・博物館資料保存履修生	11	1
	1月26日(木) 15:30~16:30	バックヤード見学と展示室の設備紹介。展覧会は自由鑑賞。	一橋大学	5	1
				69	7

計7回 延69名

③ 職場体験・訪問 受付や事務、監視、学芸などいくつかの仕事を体験させ、美術館全体の役割を伝えた。

コース名	日程	事前訪問日程	学校名	生徒数	見回り
職場体験	6月14日(火) ~15日(水) 9:30~15:00	6月1日(水) 14:00~	練馬区立大泉第二中学校・2年生	3	1
	6月16日(木) ~17日(金) 9:30~15:00	6月3日(金) 15:00~	練馬区立東中学校・2年生	1	1
	9月27日(水) ~28日(木) 9:30~15:00	9月21日(水) 15:00~	練馬区立関中学校・2年生	2	1
	11月8日(火) ~9日(水) 9:30~15:00	8月5日(金) 16:30~	練馬区立光が丘第二中学校・2年生	3	1
	11月10日(木) ~11日(金) 9:30~15:00	10月28日(金) 15:00~	練馬区立豊玉中学校・2年生	1	1
	11月24日(木) ~25日(金) 9:30~15:00	11月18日(金) 14:00~	練馬区立大泉中学校・2年生	3	1
	12月1日(木)・4日(日) 9:30~15:00	—	東京学芸大学付属小金井小学校・4年生	1	0
	1月26日(木) 9:30~15:00	1月19日(木)	練馬区立中村中学校・1年生	4	1
				18	7

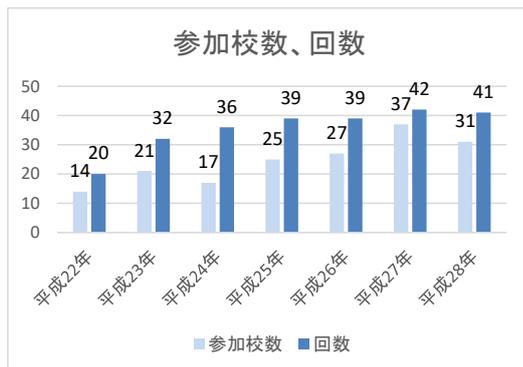
計8回 延18名

⑤ 出張プログラム 担当者が学校へ赴きコレクションや開催中の展覧会に関連した授業のお手伝いをした。

コース名	日程	内容	学校名	生徒数	教員
出張プログラム	6月15日(火) 11:50~12:40	コレクション展鑑賞の事前学習として担当学芸員がレクチャーを行った。	山崎学園富士見中学校・2年生	248	1
	12月15日(木)	パワーポイントを使って学芸員の職業紹介を行った。	都立大山高等学校・1,2年生	28	0
	12月16日(金) 10:45~12:20	1月の校内展で自作を紹介する練習として、ペアになりお互いの作品を鑑賞、調査、発表した。	練馬区立豊玉小学校・5年1組	40	1
	12月16日(金) 13:35~15:10		練馬区立豊玉小学校・5年2組	40	1
	2月15日(水)	所蔵品カードを使ったタイトル当てゲームの後好きな作品を選びカードにメモした。	練馬区立貫井中学校・2年A組	100	1
	2月16日(水)		練馬区立貫井中学校・2年B組		1
	2月17日(水)		練馬区立貫井中学校・2年C組		1
				456	6

計6回 延454名

スクールプログラム 計31校41回 参加児童・生徒・学生 延1289名



II) ティーチャーズデイ

当館及び当館主催の展覧会を、授業等で活用していただくために、区内の小中学校の先生を対象とした展覧会鑑賞日を設けた。各日ともに展示担当学芸員(または教育普及担当)による展示解説を30分程度行い、その後は自由鑑賞とした。

展覧会名	日程	参加人数
横井弘三展	4月15日(火) 15:30~	13
コレクション展	6月18日(火) 15:30~	8
しりあがり寿展	7月26日(火) 15:30~	22
朝井閑右衛門展	9月29日(火) 15:30~	15
栗津コレクション展	11月22日(火) 15:30~	4
コレクション展・田沼展	2月23日(火) 15:30~	12
		72

計6回 延74名

Ⅲ) スクールミュージアム

美術館の所蔵作品を学校の授業に役立ててもらうため、紙製の図版カード(トランプ大)の貸し出しを行った。
 ※これらのツールは、平成18年文化庁芸術拠点形成事業助成を受け、当館の所蔵作品から104点を選出し、作成したもの。
 本年度の貸出し 豊玉中学校

その他

I) 団体鑑賞時のバス利用 4月に区内の区立小学校にファックスで募集要項を送り、先着順で利用対象校とした。

展覧会	日程	学校名	利用者数	台数
コレクション展	2月28日(火) 9:30 ～11:30	練馬区立豊玉小学校・6年生	84名	2
	3月9日(水) 13:30 ～15:00	練馬区立大泉第一小学校・5年生	84名	2
				4

計2校 4台

II) 団体鑑賞(一般) 一般団体から展覧会解説の要望があった場合、申込用紙に記入頂いたうえで各担当学芸員が担当し、実施した。

展覧会	日程	担当	団体名	代表者氏名	参加者
朝井展	10月19日(水) 10:30～11:30	喜寿	練馬シニアネットワーク 睦会	会長 渋井良郎	20
	10月28日(水) 14:00～	真子	練馬区立富士見台地区区民館	館長	台風 中止
					20

計2回 延20名

教育普及事業全参加者 計3,434名

② 平成28年度 博物館実習実績

実習実施期間

平成28年9月1日(木)～9月7日(水)＜6日間＞

No	大学名	学部等	人数
1	共立女子大学	国際学部 国際学科	1名
2	女子美術大学	芸術学部 アート・デザイン表現学科 ヒーリング表現領域	1名
3	成城大学	文学研究科 美学・美術史専攻 (博士課程前期)	1名
4	立教大学	文学部 史学科	1名
5	聖心女子大学	文学部 歴史社会学科	1名
6	跡見学園女子大学	文学部 人文学科	1名
7	学習院大学	文学部 哲学科	1名
8	日本大学	芸術学部 文芸学科	1名
9	武蔵野美術大学	造形学部 建築学科	1名
10	武蔵大学	人文学部 ヨーロッパ文化学科	1名
合 計			10名

(昨年度12名)

③平成28年度 美術館サポーター(ボランティア)活動実績

「美術館サポーター」は、平成17年8月からスタートしたボランティア活動(1年更新)で、美術館事業の一部(チラシ発送作業・新聞資料作成・イベントの手伝い等)を担ってもらうボランティア活動である。

平成28年度は総勢43名のサポーターが各展覧会の事業補助や新聞切抜き作業などに従事している。

サポーター活動の実績

平成28年4月～平成29年3月

展覧会等	活動内容	活動日数	延べ人数
横井弘三の世界展	会場整理等イベント補助	1日	4名
コレクション展	チラシ等発送準備	2日	14名
しりあがり寿展	会場整理等イベント補助	1日	1名
朝井閑右衛門展	会場整理等イベント補助	2日	6名
粟津則雄コレクション展	会場整理等イベント補助	1日	2名
田沼武能肖像写真展	会場整理等イベント補助	2日	5名
練馬区民美術展	会場整理等イベント補助	4日	44名
ギャラリートーク		1日	7名
練馬区ゆかりの作家調べ		11日	122名
サポーター通信「階(きざはし)」編集		10日	70名
新聞切り抜き資料作成		43日	484名
館長を囲む会		1日	21名
合 計		79日	780名

(平成27年度 96名 延874名)

(3) 美術作品の収集事業

①平成28年度 美術作品の収蔵状況

(平成29年4月1日現在)

年度	日本画		洋画		版画		工芸		書		彫刻・立体		その他		計		合計
	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	
59	6		9	1			1	2							16	3	19
60	1	1	5	1		1				1					6	4	10
61		7	14	221	14	28								317	28	573	601
62	3	1	32	16	9	1							1	1	45	19	64
63	2	1	15	1	12										29	2	31
1	2		5	48											7	48	55
2	4	1	19	29	4	1									27	31	58
3	2	1	14	13											16	14	30
4	2	1	12	10	18	9									32	20	52
5	2		1	2											3	2	5
6	1	1	15	7		1					1				17	9	26
7	2	4	4	3		1						1			6	9	15
8	1	2	2	9	5	1									8	12	20
9			12	2	1	46									13	48	61
10	3	4	12	21											15	25	40
11		4	12	5		134									12	143	155
12		8		11											0	19	19
13				13											0	13	13
14		29		13											0	42	42
15		1	6	8	12	77									18	86	104
16		65		6											0	71	71
17		6		20											0	26	26
18		30		121		97								8	0	256	256
19		17		40				5				7		7	0	76	76
20		8		31		21									0	60	60
21		8		44		98						13			0	163	163
22		11		168		9								3		191	191
23		8		13								1		123		145	145
24		32		10		33										75	75
25															0	0	0
26		13	1	422		215						22		2084	1	2756	2757
27		5		97		112		25						18	0	257	257
28		25		22												47	47
合計	31	294	190	1428	75	885	1	32	0	1	1	44	1	2561	299	5245	5544

平成29年4月1日現在
寄託作品 1886 点

購入・寄贈・寄託計 7,430点

② 平成28年度練馬区立美術館寄贈・寄託リスト

■(1)購入 なし

■(2-1)寄贈作品 47点

No	作者名	作品名	制作年	材質技法	サイズ(cm)
1	久野和洋	ジオット作《アッシジの聖フランチェスコ》ブレデッラ	1975-76年	卵黄テンペラ・金箔、板	61.0x150.0
2	久野和洋	地の風景・坂の道	1998-99年	油彩、カンヴァス	162.0x112.0
3	久野和洋	地の風景・明ける刻	2003-04年	油彩、カンヴァス	180.8x227.0
4	久野和洋	地の風景・夕暮れ近く	2003-04年	油彩、カンヴァス	180.8x227.0
5	久野和洋	修道院の朝	2007-08年	油彩、カンヴァス	112.0x145.5
6	久野和洋	DUOMO(大聖堂)が見える	2010-11年	油彩・カンヴァス	145.5×145.5
7	久野和洋	地の風景・一本の坂道	2012-13年	油彩・カンヴァス	130.3×194.0
8	久野和洋	地の風景・明日香	2013年	油彩・カンヴァス	121.0×190.1
9	久野和洋	実る	2015年	油彩・カンヴァス	116.7×80.3
10	鞍掛徳磨	洲之内さん	1999年	油彩・カンヴァス	73.0×50.5
11	鞍掛徳磨	坐わる女	1990年代	油彩・カンヴァス	162.0×97.0
12	鞍掛徳磨	管理人	1976年	油彩・カンヴァス	81.0×100.0
13	横井弘三	母子像	1921年	漆・紙	57.5×73.9
14	横井弘三	遅しきヒマワリ	1958-59年頃	リトグラフ・紙	53.2×38.2
15	小林猶治郎	梅	1924年	油彩・カンヴァス	70.0×37.0
16	小林猶治郎	つどい	1927年	油彩・カンヴァス	24.0×100.0
17	小林猶治郎	凧	1939年	油彩・カンヴァス	105.0×88.0
18	小林猶治郎	春	1947年	油彩・カンヴァス	46.0×136.0
19	小林猶治郎	兄の応召	1938年	油彩・カンヴァス	37.0×44.0
20	小林猶治郎	沼べり	1924年	油彩・カンヴァス	36.0×45.0
21	朝井閑右衛門	豊干軌虎図	1942年	紙本着彩	40.2×151.0
22	朝井閑右衛門	昼寝する柳亮 裏面：静浦 江ノ浦にて	1940-41年	油彩・板	15.7×22.8
23	朝井閑右衛門	井の頭黎明塾	1943年	油彩・板	14.2×17.9
24	茨木杉風	渡し舟		紙本淡彩	101.0×86.5
25	茨木杉風	東京空襲		紙本淡彩	120.7×73.0
26	茨木杉風	サーチライト		紙本淡彩	120.7×73.0
27	茨木杉風	11人の天使		紙本着色	123.0×75.0
28	茨木杉風	とげ抜地藏縁日		紙本墨画淡彩	108.7×93.8
29	茨木杉風	東京上空ヘリコプター		紙本墨画	97.0×133.0
30	茨木杉風	銀座ネオン		紙本墨画	95.5×133.5
31	茨木杉風	雨夜の国道		紙本墨画	95.5×133.0
32	茨木杉風	ダンスホール (MUSASHINO)		紙本墨画	95.0×133.0
33	茨木杉風	銀座風景 (大下図)		紙本淡彩	82.0×131.4
34	茨木杉風	競馬場 (大下図)		紙本淡彩	82.6×130.3
35	茨木杉風	日本橋 (大下図)		紙本墨画	82.0×132.0
36	茨木杉風	ストリップ劇場 (大下図)		紙本淡彩	81.3×131.3
37	茨木杉風	夜の川畔 (大下図)		紙本墨画	82.0×130.8
38	茨木杉風	スケッチブック		紙、墨、水彩	20.0×17.0 ほか
39	茨木杉風	スケッチ (ハガキ大)		紙、墨、水彩	各約14.0×9.0
40	小滝雅道	不立文字		絹本淡彩	36.7×46.4
41	武田州左	光の采610		紙本着色	46.0×51.2
42	山本直彰	red door		絹本着色	52.6×25.6

43	間島秀徳	Kinesis No.209		絹本着色	96.3×39.0
44	尾長良範	Zone		絹本着色	35.3×45.0
45	竹内啓	大満PM6:16/sep 2006		絹本着色	39.3×60.4
46	松岡映丘	草紙洗		絹本着色	114.4×41.7
47	塩川文鱗	蘭亭曲水図屏風	1858	紙本墨画淡彩	各173.3×370.0

■(3-1)寄託作品 422点

No.	作者名	作品名	制作年	材質技法	サイズ(cm)
1	麻生三郎	雑木林(神奈川県南林間)	1946年	油彩・キャンバス、紙	24.5×33.3
2	浜田浄	ドローイング(1)	1979年	鉛筆・紙	50.0×65.0
3	浜田浄	ドローイング(2)	1979年	鉛筆・紙	50.0×65.0
4	浜田浄	17-E-30	2005年	油彩・キャンバス、紙	85×70.7
5	浜田浄	92-11-5	1992年	アクリリック、 ジュッソ・合板	62.0×121.5
6	小林清親	木下藤吉郎と加藤清正	明治30年代	紙本着色 額面	
7	小林清親	清親自画像	明治末~大正初	絹本着色	44.7×29.3
8	小林清親	七福神と絵師		紙本着色	49.0×9.2
9	小林清親	(三囲神社)	明治36年	紙本淡彩	22.4×34.0
10	小林清親	長命寺	明治36年	紙本淡彩	22.0×33.9
11	小林清親	牛の御前土手上月夜	明治36年	紙本淡彩	22.0×33.9
12	小林清親	アラビアンナイト 宮殿	明治19年	紙本着色	31.0×25.0
13	小林清親	アラビアンナイト 甕	明治19年	紙本着色	30.6×25.0
14	小林清親	信州ヨリ入駒ヶ嶽		紙本淡彩	36.0×15.6
15	小林清親	木曾山中		紙本淡彩	37.6×14.9
16	小林清親	水辺草花に鷺		紙本淡彩	14.1×9.0
17	小林清親	小僧と外を覗く婦人		紙本着色	各16.5×16.5
18	小林清親	上州ニッ岳蒸風呂		紙本淡彩	39.0×27.0
19	小林清親	上州口口山廬谷		紙本淡彩	39.0×27.0
20	小林清親	上州榛名神前社鉾岩		紙本淡彩	39.3×27.4
21	小林清親	日光願満		紙本淡彩	38.4×27.2
22	小林清親	日光龍とうの瀧		紙本淡彩	38.4×27.0
23	小林清親	伊香保鉱泉場ヨリ高根山ヲ望ス		紙本淡彩	39.3×27.2
24	小林清親	(物語絵 訪れ)		紙本淡彩	33.5×23.7
25	小林清親	(物語絵 十二単)		紙本淡彩	33.4×23.7
26	小林清親	井戸のある風景		紙本淡彩	28.6×18.6
27	小林清親	皇居よりの風景		紙本淡彩	18.8×28.5
28	小林清親	御年玉 のし		紙本墨書	31.9×42.6
29	小林清親	合せ鏡美人図		絹本着色	63.1×23.1
30	小林清親	弥生の節句 端午の節句		紙本淡彩	120.7×22.0
31	小林清親	東海道大井川弥次郎兵衛喜多八		絹本淡彩	107.2×35.0
32	小林清親	楠木正行図		絹本着色	112.5×40.3
33	小林清親	達磨の大あくび		紙本着色	65.5×19.1
34	小林清親	露軍ドンコサク兵		紙本着色	37.4×76.0
35	小林清親	(戦争図)		紙本着色	37.4×77.4
36	小林清親	(戦争図)		紙本着色	37.1×76.0
37	小林清親	金魚に花		紙本淡彩	14.0×9.0
38	小林清親	写生帖		紙本	
39	小林清親	自画伝		紙本	12.0×20.2
40	小林清親	雑画帖		紙本	12.0×20.2
41	小林清親	帖面		紙本	12.0×20.2
42	小林清親	名画集		折本	13.5×6.0
43	小林清親	『吉田御殿 女琵琶師』		紙本着色	21.5×14.5
44	小林清親	春画色紙		紙本着色	各22.7×19.1
45	小林清親	明智左馬之助光春湖水乗切唐松之図 下図		紙本淡彩	各38.5×26.7
46	小林清親	下図(牧童、雲間の月)		紙本淡彩	32.5×24.0
47	小林清親	下図(竹林の東屋、御茶ノ水雨)		紙本淡彩	33.3×24.7
48	小林清親	下図(万歳、羽根つき、梅見、梅に鷺)		紙本淡彩	24.6×34.1
49	小林清親	下図(達磨、寿老人、お福)		紙本淡彩	27.0×19.6
50	小林清親	下図(酒井左衛門之丞浜松城の図、井伊直正大坂城戦合)		紙本淡彩	19.2×27.3
51	小林清親	下図(本田忠勝 天龍川の戦争、柳原安政 小牧山の戦合 豊太閤公をおそふ)		紙本淡彩	19.3×25.1
52	小林清親	下図(御歳玉)		紙本淡彩	26.0×19.3
53	小林清親	下図(韓信股くぐり)		紙本淡彩	32.3×24.0
54	小林清親	下図(羅生門、三韓征伐)		紙本淡彩	32.2×24.0
55	小林清親	下図(名工伝説)		紙本淡彩	32.6×24.0
56	小林清親	下図(富士山風景)		紙本淡彩	33.5×14.5
57	小林清親	下図(富士山風景、夜桜)		紙本淡彩	33.4×24.5
58	小林清親	下図(蛭子大黒、万歳)		紙本淡彩	各24.1×16.2
59	小林清親	下図(菊、鴨)		紙本淡彩	33.3×24.0
60	小林清親	下図(管公、大黒)		紙本淡彩	32.6×24.0
61	小林清親	下図(雨後の竹、蟬)		紙本淡彩	32.1×24.1
62	小林清親	下図(旭日に若松、寿老人)		紙本淡彩	32.5×24.0
63	小林清親	下図(馬に蒲公英、馬と鶏)		紙本淡彩	32.7×24.0
64	小林清親	下図(今の今迄夢、武将)		紙本淡彩	33.3×24.5
65	小林清親	下図(水車小屋、橋のある風景)		紙本淡彩	32.7×24.0
66	小林清親	下図(絵解き、物の怪退治)		紙本淡彩	33.3×24.5
67	小林清親	下図(月、太陽)		紙本淡彩	32.1×24.0

68	小林清親	下図 (神話)		紙本淡彩	32.2×12.0
69	小林清親	下図 (雪中往来)		紙本淡彩	33.3×12.3
70	小林清親	下図 (12ヶ月ほか)		紙本淡彩	24.5×34.2
71	小林清親	下図 (蓮の花、美人4図)		紙本淡彩	32.1×24.0
72	小林清親	下図 (達磨2図、盆踊り、花火)		紙本淡彩	24.5×34.5
73	小林清親	下図 (狸4図)		紙本淡彩	24.6×34.0
74	小林清親	下図 (大黒、恵比寿、観音、釈迦)		紙本淡彩	24.5×34.1
75	小林清親	下図 (一休、托鉢、達磨2図)		紙本淡彩	24.5×34.3
76	小林清親	下図 (朝顔)		紙本淡彩	27.5×18.2
77	小林清親	下図 (雛人形3図)		紙本淡彩	33.0×23.9
78	小林清親	下図 (寿老人の散髪、鬼と奉加帖)		紙本淡彩	23.9×32.6
79	小林清親	下図 (藤娘と釣鐘弁慶、雷様)		紙本淡彩	24.0×33.0
80	小林清親	下図 (菊)		紙本淡彩	27.0×38.0
81	小林清親	下図 (桜)		紙本淡彩	27.0×38.0
82	小林清親	下図 (紫陽花)		紙本淡彩	27.0×38.0
83	小林清親	(築地本願寺か)		紙本淡彩	18.8×28.8
84	小林清親	恵比寿		紙本淡彩	26.0×37.0
85	小林清親	下図 (鼠の嫁入り)		紙本墨画	19.3×27.0
86	小林清親	水彩スケッチ		紙本淡彩	22.0×33.7
87	小林清親	水彩スケッチ		紙本淡彩	22.0×33.7
88	小林清親	水彩スケッチ		紙本淡彩	22.0×33.7
89	小林清親	水彩スケッチ	明治36年4月11日	紙本淡彩	22.0×33.7
90	小林清親	水彩スケッチ	明治36年7日	紙本淡彩	22.0×33.7
91	小林清親	芥川図印箱		木製紙貼	26.0×38.0×
92	小林清親	雛人形図手箱		紙製紙貼	21.0×15.0×3.0
93	小林清親	駿河町雪		大判錦絵	
94	小林清親	箱根底倉湯本萬年橋		大判錦絵	
95	小林清親	今戸有明楼之景	明治12年7月	大判錦絵	
96	小林清親	神田 神社暁	明治13年	大判錦絵	
97	小林清親	本町通夜雪	明治13年	大判錦絵	
98	小林清親	常盤橋内紙幣寮之図	明治13年	大判錦絵	
99	小林清親	湯島元聖堂之景	明治12年7月	大判錦絵	
100	小林清親	虎乃門夕景	明治13年	大判錦絵	
101	小林清親	両国花火之図	明治13年	大判錦絵	
102	小林清親	隅田川夜	明治29年3月10日	大判錦絵	
103	小林清親	千ほんくい両国橋	明治13年	大判錦絵	
104	小林清親	明治十四年一月十六日出火両国焼跡	明治14年	大判錦絵	
105	小林清親	明治十四年一月廿六日出火両国大火浅草橋	明治14年頃	大判錦絵	
106	小林清親	池の端花火	明治14年頃	大判錦絵	
107	小林清親	久松町ニ而見る出火	(出版年なし)	大判錦絵	
108	小林清親	明治四年一月廿六日出火 浜町より写両国大火	明治14年	大判錦絵	
109	小林清親	東京橋場渡黄昏景	明治9年	大判錦絵	
110	小林清親	(第二回内国勲業博覧会内五角堂)	明治14年頃	大判錦絵	
111	小林清親	大川端石原橋	明治13年	大判錦絵	
112	小林清親	萬代橋朝日出	明治13年頃	大判錦絵	
113	小林清親	御茶水堂	明治13年頃	大判錦絵	
114	小林清親	大森朝乃海	明治13年頃	大判錦絵	
115	小林清親	浅草蔵前夏夜	明治14年	大判錦絵	
116	小林清親	武蔵百景 池上本門寺	明治17年	大判錦絵	
117	小林清親	故内務卿正二位右大臣大久保利通公肖像	明治11年	大判錦絵	
118	小林清親	(酒、胃散、胃、砂糖の争い)		錦絵 団扇絵	
119	小林清親	不忍弁天社		錦絵 団扇絵	
120	小林清親	大伴佐提彦百済国へ渡り○○をとまなひ帰り組糸をつくる図		色紙判錦絵	
121	小林清親	(雪の中の酔い侍)		錦絵	
122	小林清親	(武士と花魁)		錦絵	
123	小林清親	文化の頃湯上り芸者風俗		石版	
124	小林清親	道成寺と弁慶		錦絵 附録	
125	小林清親	(風俗美人)		木版多色摺	37.9×26.0
126	小林清親	(王朝風俗)		木版多色摺	37.4×22.6
127	小林清親	校合摺 (かちかち山)		紙本淡彩	16.0×24.8
128	小林清親	駕籠・舟・提灯・弓と籠・鎧・人力車と荷車・障子貼り		石版か	各24.5×33.9
129	小林清親	校合摺 (「日本万歳 百撰百笑 奉天のチョコ見勢」)		木版手彩色	38.3×24.0
130	小林清親	掛図		木版多色摺	各52.2×44.0
131	小林清親	日清戦争滑稽寿語六	明治27年11月	錦絵 (大判6枚継ぎ)	
132	小林清親	滑稽ハツこぶ双六	明治30年	錦絵 (大判6枚継ぎ)	
133	小林清親	滑稽名画双六		錦絵 (大判6枚継ぎ)	
134	小林清親	古今勇名寿語録		錦絵	48.6×70.2
135	小林清親	大日本帝国万歳 平壤ノ激戦勇卒原田重吉氏玄武門ヲ破ル	明治27年12月	大大判錦絵	37.5×53.0
136	小林清親	大日本帝国万歳 第二軍金州半島上陸	明治27年12月	大大判錦絵	37.5×53.0
137	小林清親	大日本帝国万歳 第二軍金州半島上陸	明治27年12月	大大判錦絵	37.5×53.0
138	小林清親	陸海軍人高名鑑 小野口徳治氏	明治28年1月	大判錦絵	
139	小林清親	陸海軍人高名鑑 歩兵第十一聯体調 富岡中佐	明治28年2月	大判錦絵	
140	小林清親	陸海軍人高名鑑 騎兵軍曹 川崎伊勢雄氏	明治28年2月	大判錦絵	
141	小林清親	陸海軍人高名鑑 陸軍中將 山野元治君	明治28年1月	大判錦絵	
142	小林清親	陸海軍人高名鑑 水平田中市太郎氏敵弾ノ為明ヲ失シ後敵艦ヲ捕獲シタルヲ聞キ之ヲ探リテ喜泣ス	明治28年7月	大判錦絵	
143	小林清親	陸海軍人高名鑑 第二軍司令官陸軍大將 大山巖君	明治28年5月	大判錦絵	
144	小林清親	陸海軍人高名鑑 小松宮大將殿下宇品港御上陸ノ図	明治29年5月1日	大判錦絵	
145	小林清親	陸海軍人高名鑑 可児大尉市太君	明治28年1月	大判錦絵	
146	小林清親	陸海軍人高名鑑 第一旅団長 乃木希典君	明治28年2月	大判錦絵	
147	小林清親	陸海軍人高名鑑 此志島大佐膨湖島占領之図	明治29年5月1日	大判錦絵	
148	小林清親	陸海軍人高名鑑 此志島大佐膨湖島占領之図	明治29年5月1日	大判錦絵	

149	小林清親	陸海軍人高名鑑 田中石松三角湧ノ罎ミヲ抜ケ泥中或ハ 河流ニ身ヲ潜メ難苦ヲ冒シテ使命ヲ全ス	明治28年8月	大判錦絵	
150	小林清親	陸海軍人高名鑑 聯合艦隊司令長官海軍中将伊東祐亨君	明治28年4月	大判錦絵	
151	小林清親	陸海軍人高名鑑 大井軍曹三角湧ノ賊ニ罎マレ苦戦ヲ為 テ敵旗ヲ奪ヒ帝國萬歳ヲ唱ニ自殺ス	明治28年9月	大判錦絵	
152	小林清親	陸海軍人高名鑑 葛城艦三等水平 西川初太郎氏	明治28年5月	大判錦絵	
153	小林清親	陸海軍人高名鑑 九号水雷艇長大尉 真野巖次郎	明治28年4月	大判錦絵	
154	小林清親	陸海軍人高名鑑 横田安治支那服ニ装ヒ賊ノ罎ミヲ遁レ テ坊城六隊ノ客使ヲ逐グ	明治28年9月	大判錦絵	
155	小林清親	陸海軍人高名鑑 軍曹永井大蔵氏老夫ノ物語ヲ問テ敵將 ノ子ヲ養フ	明治28年7月	大判錦絵	
156	小林清親	陸海軍人高名鑑 伊藤総理大臣馬関ニ於テ講和条約を結 ぶの図	明治29年2月	大判錦絵	
157	小林清親	陸海軍人高名鑑 栗田大尉澎湖島ノ戦ニ敵將ヲ一刀両断 ス	明治28ね7月	大判錦絵	
158	小林清親	陸海軍人高名鑑 盛京省の敵を両断す 安満少佐 今田 少佐	明治28年2月	大判錦絵	
159	小林清親	陸海軍人高名鑑 第十一旅団長 陸軍少将大寺安純君	明治28年5月	大判錦絵	
160	小林清親	陸海軍人高名鑑 第六師団代隊長 樋口大尉	明治28年4月	大判錦絵	
161	小林清親	陸海軍人高名鑑 池田砲兵大尉	明治28年2月	大判錦絵	
162	小林清親	陸海軍人高名鑑 第三聯隊一等兵 船山市之助氏	明治28年1月	大判錦絵	
163	小林清親	陸海軍人高名鑑 野津陸軍大将海城攻撃指揮ノ図	明治29年5月1日	大判錦絵	
164	小林清親	日清戦争笑楽画会 浦しま おみやげ	明治28年	大判錦絵2丁掛	
165	小林清親	日清戦争笑楽画会 よめ入したく 新日本はしごのり	明治28年	大判錦絵2丁掛	
166	小林清親	日清戦争笑楽画会 神仏に平和をいのる 丁汝昌えんま の前と舟軍の講談	明治28年5月	大判錦絵2丁掛	
167	小林清親	日本萬歳 百撰百笑		木版多色摺	大判
168	小林清親	日本萬歳 百撰百笑 露国の号外売	明治37年5月9日	大判錦絵	
169	小林清親	日本萬歳 百撰百笑 敗艦の死末	明治37年5月9日	大判錦絵	
170	小林清親	日本萬歳 百撰百笑 強兵の戦任力	明治37年5月9日	大判錦絵	
171	小林清親	日本萬歳 百撰百笑 割の宜い勝法	明治37年4月7日	大判錦絵	
172	小林清親	日本萬歳 百撰百笑 露艦の閉口	明治37年4月7日	大判錦絵	
173	小林清親	日本萬歳 百撰百笑 屠露氣武者	明治37年4月7日	大判錦絵	
174	小林清親	日本萬歳 百撰百笑 奉天のチヨコ見勢	明治38年4月1日	大判錦絵	
175	小林清親	日本萬歳 百撰百笑 苦しいときの蟹頼み	明治38年4月1日	大判錦絵	
176	小林清親	日本萬歳 百撰百笑 露国の戦時観音	明治38年4月1日	大判錦絵	
177	小林清親	日本萬歳 百撰百笑 水雷艇の当	明治37年4月2日	大判錦絵	
178	小林清親	日本萬歳 百撰百笑 飛だ迷案	明治37年4月2日	大判錦絵	
179	小林清親	日本萬歳 百撰百笑 小癩ッ危兵	明治37年4月2日	大判錦絵	
180	小林清親	日本萬歳 百撰百笑 旅順の玉なし	明治38年4月1日	大判錦絵	
181	小林清親	日本萬歳 百撰百笑 達磨大悲	明治38年4月1日	大判錦絵	
182	小林清親	日本萬歳 百撰百笑 逃露ッ	明治37年3月29日	大判錦絵	
183	小林清親	日本萬歳 百撰百笑 大兵降の自劣込み	明治37年3月29日	大判錦絵	
184	小林清親	日本萬歳 百撰百笑 医者にも困つた	明治37年3月29日	大判錦絵	
185	小林清親	日本萬歳 百撰百笑 仁川艦網の一網	明治37年3月29日	大判錦絵	
186	小林清親	日本萬歳 百撰百笑 両国の大相撲	明治37年3月29日	大判錦絵	
187	小林清親	日本萬歳 百撰百笑 暴露製の安軍艦	明治37年3月29日	大判錦絵	
188	小林清親	日本萬歳 百撰百笑 迂露ッ艦	明治37年3月29日	大判錦絵	
189	小林清親	日本萬歳 百撰百笑 敗北の御注進	明治38年1月5日	大判錦絵	
190	小林清親	日本萬歳 百撰百笑 胴背焼潰し	明治38年1月5日	大判錦絵	
191	小林清親	日本萬歳 百撰百笑 海陸戦争勝技	明治37年5月20日	大判錦絵	
192	小林清親	日本萬歳 百撰百笑 危険綱渡り	明治37年5月20日	大判錦絵	
193	小林清親	日本萬歳 百撰百笑 愚迂の音も電報	明治37年6月10日	大判錦絵	
194	小林清親	日本萬歳 百撰百笑 潮合の馳走	明治37年8月10日	大判錦絵	
195	小林清親	日本萬歳 百撰百笑 危夫人の大病	明治37年6月20日	大判錦絵	
196	小林清親	日本萬歳 百撰百笑 大男の兵突張	明治37年6月20日	大判錦絵	
197	小林清親	日本萬歳 百撰百笑 九連嬢の兵気	明治37年6月20日	大判錦絵	
198	小林清親	日本萬歳 百撰百笑 露都の縮表	明治37年6月20日	大判錦絵	
199	小林清親	日本萬歳 百撰百笑 露將の首途	明治37年6月20日	大判錦絵	
200	小林清親	日本萬歳 百撰百笑 露兵の同死打	明治37年6月20日	大判錦絵	
201	小林清親	日本萬歳 百撰百笑 遼東御勘弁	明治37年6月20日	大判錦絵	
202	小林清親	日本萬歳 百撰百笑 露西亜一流転手固舞	明治37年7月1日	大判錦絵	
203	小林清親	日本萬歳 百撰百笑 諸城を踏み潰す	明治37年6月20日	大判錦絵	
204	小林清親	日本萬歳 百撰百笑 ヨワールとアワテル	明治37年7月1日	大判錦絵	
205	小林清親	日本萬歳 百撰百笑 危妙な旗ら気	明治37年7月9日	大判錦絵	
206	小林清親	日本萬歳 百撰百笑 手酷い潰し形	明治37年7月20日	大判錦絵	
207	小林清親	日本萬歳 百撰百笑 上等の死露物	明治37年7月20日	大判錦絵	
208	小林清親	日本萬歳 百撰百笑 難でも兵器	明治37年7月20日	大判錦絵	
209	小林清親	日本萬歳 百撰百笑 三国拳	明治37年8月1日	大判錦絵	
210	小林清親	日本萬歳 百撰百笑 影弁慶	明治37年8月1日	大判錦絵	
211	小林清親	日本萬歳 百撰百笑 大負に大薪	明治37年7月20日	大判錦絵	
212	小林清親	日本萬歳 百撰百笑 浦汐の大困雑	明治37年7月20日	大判錦絵	
213	小林清親	日本萬歳 百撰百笑 得利寺の打毀れ	明治37年7月20日	大判錦絵	
214	小林清親	日本萬歳 百撰百笑 面白い苦夫	明治37年7月20日	大判錦絵	
215	小林清親	日本萬歳 百撰百笑 迂露隊砲台	明治37年8月1日	大判錦絵	
216	小林清親	日本萬歳 百撰百笑 掃ハ内埃ハ外	明治37年8月1日	大判錦絵	
217	小林清親	日本萬歳 百撰百笑 手強い兵士	明治37年8月1日	大判錦絵	
218	小林清親	日本萬歳 百撰百笑 新釣狐	明治37年8月1日	大判錦絵	
219	小林清親	日本萬歳 百撰百笑 戦捷翫弄物	明治37年9月10日	大判錦絵	
220	小林清親	日本萬歳 百撰百笑 吐膽の苦し身	明治37年9月10日	大判錦絵	
221	小林清親	日本萬歳 百撰百笑 苦しい網頼み	明治37年9月10日	大判錦絵	
222	小林清親	日本萬歳 百撰百笑 大和王の御馳走	明治37年9月10日	大判錦絵	
223	小林清親	日本萬歳 百撰百笑 おか支那逃振	明治37年9月20日	大判錦絵	
224	小林清親	日本萬歳 百撰百笑 敵兵の無守備	明治37年8月1日	大判錦絵	
225	小林清親	日本萬歳 百撰百笑 滅茶負の亡霊	明治37年8月1日	大判錦絵	

226	小林清親	日本万歳	百撰百笑	大痴磯の鬼	明治37年8月1日	大判錦絵	
227	小林清親	日本万歳	百撰百笑	玉乗の死苦尻	明治37年8月1日	大判錦絵	
228	小林清親	日本万歳	百撰百笑	敵艦の大笑事	明治37年8月1日	大判錦絵	
229	小林清親	日本万歳	百撰百笑	露艦の閉口角兵衛	明治37年9月10日	大判錦絵	
230	小林清親	日本万歳	百撰百笑	泣き芳れ	明治37年9月10日	大判錦絵	
231	小林清親	日本万歳	百撰百笑	摩天嶺の弱襲	明治37年9月1日	大判錦絵	
232	小林清親	日本万歳	百撰百笑	露将の震軍	明治37年9月10日	大判錦絵	
233	小林清親	日本万歳	百撰百笑	ちゃんと落嬢	明治37年9月1日	大判錦絵	
234	小林清親	日本万歳	百撰百笑	ゾドン勝	明治37年9月20日	大判錦絵	
235	小林清親	日本万歳	百撰百笑	危隊な大法螺	明治37年9月20日	大判錦絵	
236	小林清親	日本万歳	百撰百笑	日本兵の雷名	明治37年9月20日	大判錦絵	
237	小林清親	日本万歳	百撰百笑	取られ砲台	明治37年9月20日	大判錦絵	
238	小林清親	日本万歳	百撰百笑	大歯の死術	明治37年9月20日	大判錦絵	
239	小林清親	日本万歳	百撰百笑	三死の面怪	明治37年9月20日	大判錦絵	
240	小林清親	日本万歳	百撰百笑	露将か降将か	明治37年10月1日	大判錦絵	
241	小林清親	日本万歳	百撰百笑	石橋の死狂言	明治37年10月1日	大判錦絵	
242	小林清親	日本万歳	百撰百笑	一本足の負物	明治37年10月1日	大判錦絵	
243	小林清親	日本万歳	百撰百笑	命の白い物	明治37年10月1日	大判錦絵	
244	小林清親	日本万歳	百撰百笑	海賊船の破滅	明治37年10月1日	大判錦絵	
245	小林清親	日本万歳	百撰百笑	日露の太刀合	明治37年10月1日	大判錦絵	
246	小林清親	日本万歳	百撰百笑	降らぬ騒ぎ	明治37年10月1日	大判錦絵	
247	小林清親	日本万歳	百撰百笑	露兵の倒変木	明治37年10月1日	大判錦絵	
248	小林清親	日本万歳	百撰百笑	章魚の足らひ	明治37年10月1日	大判錦絵	
249	小林清親	日本万歳	百撰百笑	埋へ工夫	明治37年5月10日	大判錦絵	
250	小林清親	日本万歳	百撰百笑	露兵の弱無士	明治37年5月20日	大判錦絵	
251	小林清親	日本万歳	百撰百笑	苦露熊退治	明治27年5月10日	大判錦絵	
252	小林清親	社会幻燈	百撰百笑	人夫募集所	明治29年1月10日	大判錦絵	
253	小林清親	社会幻燈	百撰百笑	虎の旗の藪入	明治28年12月23日	大判錦絵	
254	小林清親	社会幻燈	百撰百笑	手柄ばなし	明治28年12月23日	大判錦絵	
255	小林清親	社会幻燈	百撰百笑	開化振	明治28年12月1日	大判錦絵	
256	小林清親	社会幻燈	百撰百笑	細君の歓迎	明治28年12月1日	大判錦絵	
257	小林清親	社会幻燈	百撰百笑	兵士の帰村	明治28年12月1日	大判錦絵	
258	小林清親	社会幻燈	百撰百笑	老耄の航海	明治29年1月18日	大判錦絵	
259	小林清親	社会幻燈	百撰百笑	山師の笑談	明治29年1月18日	大判錦絵	
260	小林清親	社会幻燈	百撰百笑	解隊後の隊兵	明治29年4月15日	大判錦絵	
261	小林清親	社会幻燈	百撰百笑	大勝な勢ひ	明治29年4月15日	大判錦絵	
262	小林清親	社会幻燈	百撰百笑	帰化の仕度	明治29年4月15日	大判錦絵	
263	小林清親	社会幻燈	百撰百笑	劉永福の死案	明治28年12月23日	大判錦絵	
264	小林清親	我軍平壤ノ清營ヲ襲フ			明治27年10月	大判錦絵3枚続	
265	小林清親	我艦隊大連湾砲撃之図			明治27年10月	大判錦絵5枚続	
266	小林清親	牛莊附近雪夜之斥候			明治27年12月15日	大判錦絵3枚続	
267	小林清親	台湾新竹附近土賊掃攘之図			明治28年8月	大判錦絵3枚続	
268	小林清親	朝鮮大戦争之図			明治15年8月	大判錦絵3枚続	
269	小林清親	日露戦争南山激戦大日本大勝利万歳			明治37年6月	大判錦絵3枚続	
270	小林清親	朝鮮電報録				大判錦絵3枚続のうち?	
271	小林清親	衛生幼稚教育画話			明治29年7月1日	大判錦絵2丁掛	
272	小林清親	酒機嫌十二相之内	三人上戸酒癖		明治21年7月28日	大判錦絵	
273	小林清親	酒機嫌十二相之内	機嫌の宜なる酒癖		明治21年8月1日	大判錦絵	
274	小林清親	酒機嫌十二相之内	陰で腹をたつ酒癖		明治19年7月	大判錦絵	
275	小林清親	酒機嫌十二相之内	気の長くなる酒癖		明治21年9月2日	大判錦絵	
276	小林清親	酒機嫌十二相之内	獨で気取る酒癖		明治21年7月28日	大判錦絵	
277	小林清親	酒機嫌十二相之内	獨言を云う酒癖		明治18年7月	大判錦絵	
278	小林清親	酒機嫌十二相之内	三人上戸酒癖		明治21年7月28日	大判錦絵	
279	小林清親	酒機嫌十二相之内	人に当る酒癖		明治18年7月	大判錦絵	
280	小林清親	酒機嫌十二相之内	連れを困らせる酒くせ		明治18年5月	大判錦絵	
281	小林清親	酒機嫌十二相之内	悪口を言て人に腹を立てさせる酒癖		明治18年5月	大判錦絵	
282	小林清親	酒機嫌十二相之内	色情気付く酒癖		明治18年5月	大判錦絵	
283	小林清親	三十二相追加百面相	おしろい 手がかじかみ	おしろい こよりさし くしやみ	明治十口	大判錦絵	
284	小林清親	三十二相追加百面相	うかれる ねたみ 空涙 福者		明治16年4月	大判錦絵	
285	小林清親	三十二相追加百面相	いやな後家 浄瑠璃 怒る はね炭		明治16年	大判錦絵	
286	小林清親	三十二相追加百面相	はづかしい 代脈 馬鹿女に見とれ 鬱ひている		明治16年	大判錦絵	
287	小林清親	三十二相追加百面相	かねつけ いぢわる 髪結 しかられ		明治16年	大判錦絵	
288	小林清親	三十二相追加百面相	浄瑠璃 酒をのむ つまみ喰 途中の出合		明治16年	大判錦絵	
289	小林清親	三十二相追加百面相	おおし をこり上戸 わらい上戸 おせぢわらひ		明治16年3月	大判錦絵	
290	小林清親	三十二相追加百面相	画工の身振 針のめど 火ふき かりこみ		明治16年3月	大判錦絵	
291	小林清親	三十二相追加百面相	容体ぶる 相撲見物 髭ねじり 見て見ぬふり		明治16年	大判錦絵	
292	小林清親	三十二相追加百面相	虱とばし 釣人 作者の一人言 蚤取まなこ		明治16年3月	大判錦絵	
293	小林清親	三十二相追加百面相	合せ鏡 笑て居る児 髭そり 泣て居る児		明治16年3月	大判錦絵	

294	小林清親	三十二相追加百面相 おし石をあげる きどる人 劇場にみとれて泣 いねむり	明治16年3月	大判錦絵	
295	小林清親	三十二相追加百面相 遠めがね 耳そうじ 尻もち 灸点	明治16年	大判錦絵	
296	小林清親	三十二相追加百面相 たちぎょ くらやみ おもたい おゝかいゝ	明治16年3月	大判錦絵	
297	小林清親	三十二相追加百面相 孝女の神信心 権妻のうわべのりんき 奥方内心の恠気 芸妓の内幕	明治16年4月	大判錦絵	
298	小林清親	三十二相追加百面相 歯いたみ 霧ふき 歯みがき むねつかへ	明治16年	大判錦絵	
299	小林清親	三十二相追加百面相 かなしひ むせた けむい、くやしひ	明治16年	大判錦絵	
300	月岡芳年	教導立志基 伊企難 老	明治18年10月26日	大判錦絵	
301	小林清親	教導立志基 小野道風 三	明治19年5月21日	大判錦絵	
302	井上探景	教導立志基 大納言行成 四	明治19年	大判錦絵	
303	井上探景	教導立志基 林間煖酒焼紅葉 十	明治19年	大判錦絵	
304	井上探景	教導立志基 仏女 十一	明治18年12月	大判錦絵	
305	小林清親	教導立志基 盛遠 十二	明治18年12月	大判錦絵	
306	小林清親	教導立志基 盛遠 十二	明治18年12月	大判錦絵	
307	小林清親	教導立志基 佐藤嗣信 十四	明治19年5月21日	大判錦絵	
308	井上探景	教導立志基 静 十五	明治18年12月25日	大判錦絵	
309	井上探景	教導立志基 青砥藤綱 十九	明治18年12月	大判錦絵	
310	井上探景	教導立志基 村上義光 廿一	明治18年12月25日	大判錦絵	
311	井上探景	教導立志基 箱王 廿一	明治18年10月26日	大判錦絵	
312	小林清親	教導立志基 菊池武光 廿五	明治19年	大判錦絵	
313	小林清親	教導立志基 徳川竹千代 卅一	明治18年10月6日	大判錦絵	
314	小林清親	教導立志基 信長 卅二	明治18年12月25日	大判錦絵	
315	小林清親	教導立志基 阿国 三十四	明治19年	大判錦絵	
316	小林清親	教導立志基 細川幽斎 三十五	明治19年	大判錦絵	
317	豊原国周	教導立志基 秋色 卅七	明治18年12月26日	大判錦絵	
318	小林清親	教導立志基 徳川慶喜 四十四	明治19年	大判錦絵	
319	井上探景	教導立志基 秋子 四十六	明治19年	大判錦絵	
320	月岡芳年	教導立志基 伊企難	明治35年8月5日	大判錦絵	
321	井上探景	教導立志基 妙沢		大判錦絵	
322	小林清親	教導立志基 上杉景虎		大判錦絵	
323	小林清親	教導立志基 源義家	明治35年8月5日	大判錦絵	
324	小林清親	教導立志基 内侍		大判錦絵	
325	小林清親	教導立志基 大仁上毛野形名		大判錦絵	
326	小林清親	教導立志基 佐藤嗣信		大判錦絵	
327	小林清親	列仙画註 皇大姥	明治16年2月21日	大判錦絵	
328	小林清親	列仙画註 馬師皇	明治16年4月	大判錦絵	
329	小林清親	列仙画註 王喬	明治16年2月	大判錦絵	
330	小林清親	列仙画註 子英	明治16年2月21日	大判錦絵	
331	小林清親	日本名勝図会 猿橋	明治29年11月1日	大判錦絵	
332	小林清親	日本名勝図会 小金井	明治29年11月	大判錦絵	
333	小林清親	日本名勝図会 嵐山	明治30年1月	大判錦絵	
334	小林清親	日本名勝図会 養老瀑布	明治29年12月	大判錦絵	
335	小林清親	日本名勝図会 田子の浦	明治30年2月	大判錦絵	
336	小林清親	日本名勝図会 月ヶ瀬奥の谷	明治30年2月	大判錦絵	
337	小林清親	日本名勝図会 豊後耶馬溪古羅漢寺	明治30年	大判錦絵	
338	小林清親	日本名勝図会 熱海温泉	明治30年4月	大判錦絵	
339	小林清親	日本名勝図会 清見瀉	明治29年11月	大判錦絵	
340	小林清親	日本名勝図会 中禅寺湖	明治30年3月	大判錦絵	
341	小林清親	日本名勝図会 江の島	明治29年11月	大判錦絵	
342	小林清親	日本名勝図会 成田山新勝寺	明治30年1月	大判錦絵	
343	小林清親	日本名勝図会 常陸桜川より筑波山を臨む	明治30年3月	大判錦絵	
344	小林清親	古代模様 清少納言	明治29年10月12日	大判錦絵3枚続	
345	小林清親	花模様 延宝	明治29年5月19日	大判錦絵3枚続	
346	(松木東江)	金龍山浅草寺之図	明治16年3月10日	大判錦絵3枚続のうち2枚	
347	小林清親	(軍人見舞い)		大判錦絵3枚	
348	小林清親	(日清戦争)		大判錦絵4枚	
349	小林清親	古今誠画 浮世絵類考之内 治承四年之頃 金子十郎家忠 三浦大助義明		大判錦絵2枚続のうち	
350	小林清親	古今誠画 浮世絵類考之内 宝永元ノ頃 今ヲ去百八十二年 徳川綱吉	明治18年3月	大判錦絵2枚続	
351	小林清親	古今誠画 浮世画類考之内 天正三年之頃 対馬守一豊山内一豊室	明治18年	大判錦絵2枚続	
352	小林清親	古今誠画 ?		大判2枚続のうち	
353	小林清親	管公配所之図	明治35年2月1日	大判錦絵3枚続	
354	小林清親	三国誌桃園之図	明治10年	大判錦絵3枚続	
355	小林清親	(彫画共進会内) 鉢の木	明治17年8月	大判錦絵3枚続	
356	小林清親	(彫画共進会内) 浪波餘聞	明治17年4月	大判錦絵3枚続	
357	小林清親	明智左馬之助光春湖水乗切唐松之図	明治30年5月7日	大判錦絵3枚続のうち左1枚	
358	小林清親	(役者絵) 市川九蔵の鶉飼勘作 中村福助の日蓮上人	明治19年9月21日	大判錦絵続物のうち	
359	小林清親	『団団珍聞』第九百九拾七号	明治28年1月19日	冊子本	24.5×17.0
360	小林清親	『団団珍聞』第六百廿三号	明治20年11月19日	冊子本	24.5×17.0
361	小林清親	『団団珍聞』第四百廿五号	明治17年3月22日	冊子本	24.5×17.0
362	小林清親	『団団珍聞』第九百二号	明治26年3月25日	冊子本	24.5×17.0
363	小林清親	『小学百科叢書』			15.5×10.5
364	小林清親	『大王の大怪我』			24.5×17.0
365	小林清親	『滑稽立志編』	明治21年11月	冊子本	17.0×12.0
	清親資料				
366		猫に鼠	昭和	木版多色摺	大判

367		鶏	昭和12年11月	木版多色摺	30.3×42.0
368		猫に提灯	昭和	木版多色摺	大々判
369		清親展会場絵葉書 (於、弘前)		写真はがき	
370		小林清親 名作集 (第一集～第六集)	昭和43年	木版多色摺	大判
371		清親風景真画頒布会	昭和4年 (1929) か		大判
372		『傑出木版画 小林清親風景真画』版画出版のお知らせ	昭和4年 (1929) か		
373		(複製版画)			
374		小林清親 美人画 画伝の内 カレンダー用	昭和2年		
375		小林清親版画展覧会 お知らせ	昭和8年2月		
376		清親十七回忌追善記念遺作展覧会出品目録	昭和6年		38.5×65.5
377		(光線画印刷)		オフセット	
378		箱根神社雪 絵葉書			
379		作品写真 武者絵		プリント	
380		墨画		紙本墨画	
381		印			
382		清親写真		紙焼プリント	
383		清親写真 (老年) ガラス板		ガラス板	
384		清親写真 (成年) ガラス原板		ガラス湿板	8.5×6.5
385		清親写真		紙焼きプリント	
386		清親写真ガラス板など		ガラス板など	
387		清親着用 袴			
	清親作品以外				
388	田口米作	日清戦争 忠勇美鑑 樋口工兵大尉ノ慈愛	明治28年9月	大判錦絵	
389	田口米作	日清戦争 忠勇美鑑 喇叭白神源次郎氏	明治28年3月	大判錦絵	
390	田口米作	日清戦争 忠勇美鑑 陸軍歩兵大佐佐藤正氏	明治28年3月	大判錦絵	
391	田口米作	日清戦争 忠勇美鑑 陸軍大尉 松崎直臣氏	明治28年8月	大判錦絵	
392		(横浜街頭)		団扇絵	
393	熊耳耕年	(仙台街)	昭和5年7月	多色刷り木版3枚続	
394	新井吉宗	撰雪六六談 孝子の練磨	明治26年	大判錦絵	
395	土屋光逸	西湖の夕照	昭和13年5月	木版多色刷	26.5×37.0
396	土屋光逸	京都二條城	昭和8年4月	木版多色刷	39.0×18.5
397	土屋光逸	明石の浜	昭和9年春	木版多色刷	39.7×26.1
398	土屋光逸	比良の暮色	昭和11年春	木版多色刷	38.7×26.0
399	土屋光逸	石山寺の秋月	昭和8年10月	木版多色刷	39.0×27.4
400	土屋光逸	雪の宮島	昭和11年1月	木版多色刷	28.3×20.2
401	土屋光逸	浅草観世音	昭和13年11月	木版多色刷	38.5×26.4
402	土屋光逸	矢橋の帰帆		木版多色刷	39.0×26.0
403	土屋光逸	雪の堅田 浮見堂	昭和9年春	木版多色刷	38.7×26.1
404	土屋光逸	九州箱笥の八幡宮	昭和13年3月	木版多色刷	42.5×28.5
405	土屋光逸	三保の松原	昭和13年10月	木版多色刷	28.0×40.0
406	井上安治	彫画共進会内 両国煙火図	明治10年	大判錦絵3枚続	
407	春燈齋ほか	銅版画		銅版画	
408	亜欧堂田善?	東都名所全図			
409		歌舞伎十八番画展 チラシ			24.1×34.5
410		陽物比べ		紙本淡彩	27.5×16.5
	清親以外の資料				
411	小林奈津	湖龍齋写し 若衆図	昭和7年	絹本着色	94.0×32.6
412	小林奈津ほか	短冊			
413		郷土会第十五回「川瀬巴水作品展覧会」目録	昭和5年		
414		(非売品) 当世婦人百態		印刷	
415		(複製版画 印刷)			
416	菊野源太郎	婦人像	昭和8年3月6日	鉛筆画	
417		菊野源太郎宛封筒	昭和27年		
418		ざくろとりんご		紙本・水彩	
419		熨斗” 鱈節”		木版多色摺	
420	宮尾しげ男	地震・家事・泥棒		木版多色摺	
421		小林なつ 印			
422		『文久行幸記 全』		筆写本	9.0×20.0

③ 平成28年度 収蔵品貸出一覧

11施設の展覧会に、計55作品の貸し出しを行った。

	貸出施設	展覧会名	会期	貸出作品
1	サントリー美術館	オルセー美術館特別協力 生誕170周年 エミール・ガ レ展	6月29日～ 8月28日	書籍『フルール・アニメ』1847年(鹿島茂 コレクション寄託)資料等16点
2	苫小牧市美術博物館	Art and Air～空と飛行機を めぐる、芸術と科学の物語 展	7月9日～ 9月4日	中村宏《飛行機不時着す》1963年、他12 点
3	茅野市美術館	在る表現—その文脈と諏 訪 松澤宥・辰野登恵子・ 宮坂了作・根岸芳郎展	8月7日～ 9月11日	辰野登恵子《Untitled92-7》1992年、他7 点
4	鳥取県立博物館 他2館	日本におけるキュビスム— ピカソ・インパクト展	10月1日～ 平成29年3月26日	池田龍雄《十字街》1952年、他3点
5	神奈川県立近代美術 館、鎌倉別館	松本竣介 創造の原点	10月8日～ 12月25日	鬚光《花と蝶》1941-42年、他1点
6	川越市立美術館	池田幹雄×滝沢具幸— 「日本画」のその先へ—	10月22日～ 12月4日	池田幹雄《夜のものたち I》他6点
7	宇都宮美術館	「石の街うつのみや」展	1月8日～ 3月5日	岡本唐貴《石切場》1960年
8	横須賀美術館	「所蔵品展 特集:若林砂 絵子」	12月17日～ 4月9日	若林砂絵子《Untitled [Works 1]》2002- 2004年 他3点

④ 平成28年度美術館収蔵品データベースに対する反響

当館ホームページでは企画展の見どころや教育普及事業の情報などを随時公開しており、多くの方に利用いただいている。

また収蔵品についても平成17年にデジタルデータ化し、学校教育や生涯学習等、利用機会の拡充を行った。平成24年にはデータベースを新システムに更新し、常時インターネットより7,000点に及ぶ当館収蔵品を検索・閲覧可能とした。

以下は、平成28年度の収蔵品データベースへのアクセス件数

	美術館トップページ	データベース
4月	17,562件	567件
5月	14,810件	628件
6月	11,157件	1,123件
7月	15,364件	771件
8月	15,427件	780件
9月	10,677件	635件
10月	10,011件	785件
11月	8,301件	1,237件
12月	7,292件	673件
1月	9,080件	1,354件
2月	11,791件	579件
3月	11,617件	682件
合計	143,089件	9,814件
平均	11,924件/月	818件/月
(平成27年度)	131,351件	8,736件)

(4) 施設利用状況

平成28年度 施設利用状況

① 展示室

区 分	展覧会 回 数	利用日数 (日)	観覧者数 (人)	利用可能日数 (日)	利用率 (%)
一般展示室	45	241	26,211	272	88.6
企画展示室	4	18	1,470	42	42.9
合計	49	259	27,681	314	82.5
(平成27年度)	41	237	34,341	263	90.1

② 創作室

利用団体	利用件数(件)	月平均 件数(件)	利用人数 (人)	利用可能件数 (件)	利用率 (%)
19	315	26	4,728	540	58.3
(平成27年度)	268	27	4,120	352	76.1

③ 施設申込状況

区 分		年度総件数	月平均件数	倍 率
一般展示室	申込	72	6.0	最高 5.00倍
	当選	41	3.4	平均 1.91倍
企画展示室	申込	3	—	12月および1月の一部貸出 ※抽選は平成28年6月およ び7月に行った。 倍率 1.00倍
	当選	3	—	

※展示室の抽選は利用日の6ヶ月前

(5) ぐるっとパスの利用状況

① 平成 28 年度ぐるっとパスの利用状況

「ぐるっとパス」は、都内の美術館・博物館などの入場券または割引券を 1 冊に綴ったチケットブックで、平成 28 年度は 79 の施設が対象施設として参加した。当館も、観覧者と収入の増を見込んで、平成 23 年度から対象施設として参加している。

価格は 1 冊 2,000 円（使用開始日から 2 か月間有効）で、各対象施設や旅行代理店などで販売を行うほか、コンビニエンスストア等でも引換券を販売している。

平成 28 年度は、パス 205 冊（上半期 176 冊、下半期 29 冊）を売り上げた。

また、パスの所持者 1,731 人が当館を利用した。

※ 平成 27 年度は、パス売り上げ 455 冊、パス所持者 3,280 人が来館

② 平成 28 年度ぐるっとパスの収支

(A) 収入 …… 394,074 円（平成 27 年度；693,408 円）

① 販売歩合 売上の 5% @2,000×205 冊×5%=20,500 円

② 配分金 パス利用の入館者数（1,731 人）に応じた配分金 223,574 円

③ 出資金返還 150,000 円

(B) 支出 …… 150,000 円

① 参加出資金 150,000 円

※ 収入(A) - 支出(B)

394,074 円 - 150,000 円 = 244,074 円

※ 前年比 299,334 円の減

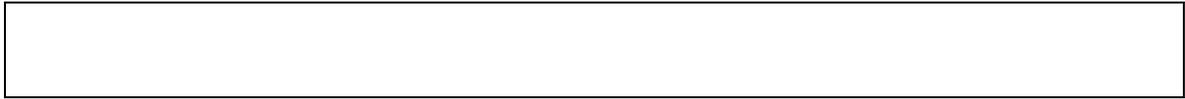
(平成 27 年度 543,408 円)

(6) 広報活動と反響

没後 50 年“日本のルソー” 横井弘三の世界展

(平成 28 年 4 月 17 日～6 月 5 日)

<p><テレビ></p> <p>NHK E テレ「日曜美術館 アートシーン」 5 月 1 日 9:45～</p> <p>テレビ埼玉「マチコミ」 5 月 26 日 16:30～18:00</p> <p>J:com「デイリーニュース (練馬・新座・和光)」 4 月 22 日 18:00～18:30</p>	
<p><新聞></p> <p>読売新聞 2 月 29 日朝刊、4 月 8 日朝刊、4 月 17 日朝刊、 4 月 26 日朝刊、4 月 27 日朝刊、4 月 28 日朝刊、 読売家庭版 3 月号</p> <p>朝日新聞 5 月 24 日夕刊</p> <p>産経新聞 5 月 19 日朝刊 東京リビング 4 月 23 日号</p> <p>北海道新聞 5 月 23 日</p> <p>共同通信社・提供記事</p> <p>河北新報 5 月 1 日朝刊、山形新聞 5 月 3 日朝刊、岐阜新聞 5 月 7 日朝刊、 福島民友 5 月 9 日朝刊、高知新聞 5 月 13 日朝刊、新潟日報 5 月 16 日朝刊、 中国新聞 5 月 17 日朝刊、秋田さきがけ 5 月 18 日朝刊、静岡新聞 5 月 27 日夕刊</p> <p>生涯教育新聞 5 月</p>	
<p><美術雑誌></p> <p>美術の窓 2 月号</p> <p>美術の窓 4 月号</p> <p>美術の窓 5 月号</p> <p>芸術新潮 6 月号</p> <p>一枚の繪 5 月号</p> <p>展覧会ガイド 4 月号</p>	<p><雑誌></p> <p>MOE 5 月号</p> <p>週刊ポスト 6 月 10 日号</p> <p>武州路 4 月号</p> <p>武州路 5 月号</p>
<p><地域情報誌></p> <p>池袋 15' 3 月 20 日号／4 月 20 日号</p> <p>多摩地域のタウン紙 asacoco 4 月 7 日</p> <p>びいーゆ 5 月号</p> <p>Kacce5 月・6 月号</p>	
<p><WEB></p> <p>アートアジェンダー</p> <p>カロズネット</p> <p>個展なび</p> <p>G-Call</p> <p>migle</p> <p>和楽公式サイト</p> <p>タイムアウト東京</p> <p>ART LOVER</p> <p>myLiFE+</p> <p>練馬経済新聞</p> <p>SPICE</p> <p>ぶらり美術館</p> <p>他</p>	



練馬区立美術館コレクション展 シリーズ時代と美術4 1990～2000年代 辰野登恵子《Untitled 92-8》を中心に

(平成28年6月10日～6月26日)

<p><新聞> 毎日新聞 6月7日朝刊 東京新聞 6月9日朝刊</p>
<p><美術雑誌> 新美術新聞</p>
<p><地域情報誌> Kacce6月号</p>
<p><WEB> 和楽 (WEB マガジン) ニッポンの美術館 100 イマコレ (小学館) 他</p>

しりあがり寿の現代美術 回・転・展

(平成28年7月3日～平成28年9月4日)

<p><テレビ> BS朝日 7月18日(月曜・祝日) 23:54～24:00 「ぶ知蔵」 / 展覧会告知映像 テレビ朝日 スポットCM BS朝日 スポットCM</p>	
<p><新聞> 東京新聞 6月30日ほっとなび、8月5日夕刊 毎日新聞 6月28日美術館ガイド、7月20日夕刊 朝日新聞 6月10日マリオン読者プレゼント、6月28日、6月28日美術館ガイド、 7月3日、7月12日夕刊、7月20日、8月2日夕刊、8月5日夕刊 産経新聞 7月14日 都政新報 7月26日 日経新聞 8月3日夕刊 公明新聞 8月27日</p>	
<p><美術雑誌> 美術の窓 7月号 月刊ギャラリー 7月号 月刊美術 8月号 美術手帖 8月号 美術手帖 (レビュー) 9月号 月刊展覧会ガイド (首都圏) 7-8月号</p>	<p><雑誌> メンズノンノ 7月号 Casa BRUTUS 7月号 レタスクラブ 7月10日号 UOMO 8月号 懸賞なび 7月号 Anan 7月20日号 テレビブロス 7月30日号 戦国武将列伝 8月号 プレーン 8月号 装苑 8月号</p>

	<p>FUDGE 9月号 MOE 9月号発売号 Pen 9月1日 SPA 8月2日号 女性セブン 9月15日発売号 NYLON 10月号 キャラクターランド 夏号</p>
<p><地域情報誌></p> <p>Ezpress 7月号 月間 Kacce 7月号 池袋びいーゆ 7月号 池袋'15 8月号 ロコム 8月号</p>	<p><メールマガジン></p> <p>日経 DUAL テレビ朝日メールマガジン</p>
<p><WEB></p> <p>TOKYO ART BEAT SPICE art scape(アーツスケープ) ねとらぼ タイムアウト東京 レッツエンジョイ東京 個展ナビ Art Agenda C I N R A . N E T FASHION HEADLINE G-C a l l ニッポンの美術館 100 イマコレ インターネットミュージアム club will be ホームページ びあポイントサイト ぶらり美術館 SharArt 美術 ACADEMY&SCHOOL ブログ 練馬経済新聞 テレビ朝日 touch!★テレアサ ブログ 講談社「おとなスタイル」今日は何の日?</p>	<p>Art Life Museum the Net クリエーター館 Casa BRUTUS オンライン 練馬アニメーションサイト THE PAGE ぐるっとパスナビ ぐるっとパスブログ JR おでかけネット ミュージアムカフェ リクルート「R25」スマホ版 クリエイターズステーション WWD コンフォルト web 版 ブレーン web マガジン イベニア HEAPS media 版 T-SITE Lifestyle Dokka!おでかけ探検隊 東京の観光公式サイト GO TOKYO 青い日記帳 今見られる全国のおすすめ美術館 100 和楽公式サイト 他</p>

朝井閑右衛門展 空想の饗宴

(平成 28 年 9 月 18 日～平成 28 年 11 月 13 日)

<p><テレビ> NHK Eテレ 10月9日(日) 9:45～10:00「日曜美術館・アートシーン」 J-COM 10月16日～10月30日 ねりまホットライン</p>			
<p><新聞> 読売新聞 8月29日朝刊、10月26日朝刊、10月29日朝刊、11月1日朝刊 産経新聞 10月6日朝刊</p>			
<p><美術雑誌> 美連協ニュース 8月号 美連協ニュース 11月号 美術の窓 9月号 月刊美術 9月号 美じょん新報 9月20日号 美じょん新報 10月20日号 一枚の繪 11月号 東京ミュージアム散歩(mook)</p>	<p><雑誌> 武州路 10月号</p>		
<p><地域情報誌> 月間 Kacce 9月号 池袋びいーゆ 10月号 池袋'15 9月号</p>			
<p><WEB></p> <table border="0"> <tr> <td> <p>TOKYO ART BEAT レッツエンジョイ東京 個展なび Art Agenda CINRA.NET harArt 美術 ACADEMY&SCHOOL ブログ 練馬経済新聞</p> </td> <td> <p>Art Life Museum the Net クリエーター館 Casa BRUTUS オンライン THE PAGE ぐるっとパスナビ ぐるっとパスブログ ミュージアムカフェ クリエイターズステーション Dokka!おでかけ探検隊 東京の観光公式サイト GO TOKYO 青い日記帳 和楽公式サイト 他</p> </td> </tr> </table>		<p>TOKYO ART BEAT レッツエンジョイ東京 個展なび Art Agenda CINRA.NET harArt 美術 ACADEMY&SCHOOL ブログ 練馬経済新聞</p>	<p>Art Life Museum the Net クリエーター館 Casa BRUTUS オンライン THE PAGE ぐるっとパスナビ ぐるっとパスブログ ミュージアムカフェ クリエイターズステーション Dokka!おでかけ探検隊 東京の観光公式サイト GO TOKYO 青い日記帳 和楽公式サイト 他</p>
<p>TOKYO ART BEAT レッツエンジョイ東京 個展なび Art Agenda CINRA.NET harArt 美術 ACADEMY&SCHOOL ブログ 練馬経済新聞</p>	<p>Art Life Museum the Net クリエーター館 Casa BRUTUS オンライン THE PAGE ぐるっとパスナビ ぐるっとパスブログ ミュージアムカフェ クリエイターズステーション Dokka!おでかけ探検隊 東京の観光公式サイト GO TOKYO 青い日記帳 和楽公式サイト 他</p>		

栗津則雄コレクション展 “思考する眼”の向こうに

(平成 28 年 11 月 19 日～平成 29 年 2 月 12 日)

<p><テレビ></p> <p>J:com 「デイリーニュース (練馬・新座・和光)」 11 月 30 日 18:00～18:20</p>	
<p><新聞></p> <p>信濃毎日新聞 12 月 15 日 日本経済新聞 12 月 5 日・1 月 5 日・2 月 2 日 朝日新聞マリオン 11 月 29 日 都政新報 2017 年 1 月 20 日号</p>	
<p><美術雑誌></p> <p>美術の窓 2016 年 2 月号 美術の窓 2016 年 12 月号 月刊ギャラリー11月号 美じょん新報 10 月 20 日発行 新美術新聞 12 月 21 日号 芸術新潮 (展覧会情報欄) 12 月号 ギャラリー (スケジュール欄) 12 月号 美術手帖 (ART NAVI) 12 月号</p>	<p><雑誌></p> <p>サンデー毎日 2017 年 1 月 29 日号 東京人 2017 年 2 月号</p>
<p><地域情報誌></p> <p>池袋 15' 12 月号</p>	<p>月刊 ezpress 12 月号</p>
<p><WEB></p> <p>アートアジェンダ G-CALL ShareArt 個展なび アートサイト miple</p>	<p>キャリア・ママ ナビタイムジャパン ぶらり美術館 和楽「ニッポンの美術館 100 イマコレ」 他</p>

田沼武能肖像写真展 時代(とき)を刻んだ貌(かお)

(平成 29 年 2 月 23 日～平成 29 年 4 月 9 日)

<テレビ> J:com 「デイリーニュース (練馬・新座・和光)」 3月3日放送	
<新聞> 朝日新聞 1月7日 朝刊 朝日新聞 2月23日 夕刊 赤旗 2月12日号 東京新聞 2月23日 朝刊 朝日新聞 2月17日 夕刊 日本経済新聞 2月25日 朝刊 朝日新聞 2月18日 朝刊 毎日新聞 2月28日 朝刊 朝日新聞 2月21日 朝刊 聖教新聞 3月11日号 定年時代 3月下旬号 都政新報 3月14日号	
<美術雑誌> 美じょん新報 209号 2月20日刊行 「美術の窓」 2月号 1月20日刊行 「月刊美術」 3月号 2月20日刊行 「アートコレクターズ」 2月25日発行 「ギャラリー」 2月号 2月1日発行	<雑誌> 月刊「武州路」 1月20日掲載 月刊「フォトコン」 2月20日発行 週刊「東京民報」 2月19日
<地域情報誌> 月刊 Kacce 2月号 2月1日発行	
<WEB> SPICE G-CALL ShareArt 個展なび 東京観光財団公式ウェブサイト「GoTokyo」	アートアジェンダ 今見られる全国のおすすめ展覧会 100 by KATYCOM 協同組合インフォメーションテクノロ ジー 美術館情報サイト「ぶらり美術館」
<その他> ・提示 練馬区報 2月21号 貫井図書館だより 1月掲示 ライフアップ 23 3月号 (練馬区職員向け 貫井図書館パスファインダー 2月 情報誌) ・駅貼り (ポスター) 練馬区フェイスブック 京王エージェンシー 2月	

お蔵出し！練馬区立美術館コレクション展

(平成 29 年 2 月 23 日～平成 29 年 4 月 9 日)

<テレビ> J:com「デイリーニュース（練馬・新座・和光）」2月24日	
<美術雑誌> 書画の楽しみ（第104号 2月号） 1月25日刊行	新美術新聞 3月1日号
<地域情報誌> 月刊 Kacce 2月号	
<WEB> リビング東京 G-CALL ShareArt 個展なび 和樂	今見られる全国のおすすめ展覧会 100 by KATYCOM 他
<その他> ・ 掲示 貫井図書館だより 2月掲示 ・ 駅貼り（ポスター） 京王エージェンシー 2月 練馬区報 2月21号	

2 平成29年度 事業計画

(1) 展覧会事業

平成29年度 展覧会事業日程

3階展示室			2階展示室		
会期	展覧会名	担当	会期	展覧会名	担当
4月16日 6月4日 <43日間>	【有料】 練馬区独立70周年記念 19世紀パリ時間旅行－失われた街を求めて－展				小野
6月9日 6月18日 <9日間>	【無料】 第63回練馬区美術家協会展		6月9日 7月14日 <31日間>	【有料】 生誕110年記念 漆の画家 太齋春夫展	喜多
6月20日 7月14日 <22日間>	(一般貸出)				
7月23日 9月18日 <50日間>	【有料】 練馬区独立70周年記念 生誕150年記念 藤島武二展				加藤 小野
9月28日 11月19日 <46日間>	【有料】 練馬区独立70周年記念 麻田浩展・・・静謐なる楽園の廃墟				真子 加藤
11月26日 12月19日 <20日間>	(一般貸出)				
12月20日 12月27日 <7日間>	【無料】 練馬区名誉区民顕彰記念 野見山暁治 収蔵作品展	喜多			
1月4日 1月11日 <7日間>	(一般貸出)		11月26日 2月11日 <62日間>	【無料】 小野木学 絵本原画展 ぼくの中のコドモ	真子
1月13日 1月17日 <4日間>	中学校生徒作品展				
1月20日 1月25日 <5日間>	小学校連合同工展				
1月27日 1月28日 <2日間>	小中学校連合書きぞめ展				
2月3日 2月11日 <8日間>	【無料】 第49回練馬区民美術展				
2月22日 4月15日 <33日間>	【有料】 練馬区独立70周年記念 サヴィニャックーパリにかけたポスターの魔法展				小野

練馬区独立 70 周年記念

① 19 世紀パリ時間旅行—失われた街を求めて—展 開催要項

- 1 開催趣旨 フランス文学者の鹿島茂氏（明治大学教授）による「失われたパリの復元」（『芸術新潮』連載）をもとに、「19 世紀の首都」パリの全体像に迫る展覧会を開催した。

パリの長い歴史の中で、もっとも衝撃的な出来事が第二帝政期（1852-70）に行われたパリ大改造である。しばしば「パリの外科手術」とも呼ばれるこの大改造は、時の皇帝ナポレオン 3 世（1808-73／在位：1852-70）の肝いりで、1853 年にセーヌ県知事に就任したオスマン男爵（1809-91）によって着手された。都市としての基本部分こそ大きな変化なく引き継がれたが、この大改造によってパリの景観は様変わりした。

1870 年代に入り、大手術を経たパリの景観は、印象派をはじめとした画家たちの格好の題材となった。それは新しいパリが、同時代の芸術家たちにとって創作の源泉と成り得たことを意味しており、言い換えれば、近代都市の成立は近代美術の形成とも連動していると指摘できるだろう。

本展では、大改造によって失われたパリの路地風景を版画におこしたアドルフ・マルシアル・ポテモン『いにしえのパリ』（1866 年）をはじめ、絵画や衣装など多様な美術作品を通して、パリの歴史を辿り、大改造以前・以後のパリを紹介した。
- 2 会 期 平成 29 年 4 月 16 日（日）～6 月 4 日（日）
- 3 主 催 練馬区立美術館、毎日新聞社
- 4 後 援 在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ日本
- 5 協 力 新潮社、公益財団法人 京都服飾文化研究財団
- 6 内 容 地図、書籍、ポスター、写真、版画、油彩画、彫刻、衣装など約 350 点
- 7 図 録 3200 円 図録兼書籍として青幻舎より出版
- 8 観 覧 料 800 円
- 9 観覧者数 15,804 人（368 人／日） 当初見込 16,340 人（380 人／日）
- 10 イベント 講演会（鹿島茂氏、喜多崎親氏、深井晃子氏）、ギャラリートーク（鹿島茂氏、学芸員）、ワークショップ、朗読と音楽の公演「ワルツ」（出演：若村麻由美他）
- 11 担 当 学芸員 小野寛子

参考：関連企画

- (1) パリと音楽家たち 小林愛実ピアノ・リサイタル 5 月 20 日（土）練馬文化センター
- (2) フランス映画傑作選 6 月 3 日（土）鹿島茂氏トークあり、4 日（日）大泉学園ゆめりあホール
- (3) 五味康祐オーディオレコードコンサート ～フランス音楽の午後～ 4 月 22 日（土）
ふるさと文化館分室

② 生誕 110 年記念 漆の画家 太齋春夫展 開催要項

- 1 開催趣旨

太齋春夫は、1907年(明治40)、仙台市長町に生まれ、1932年(昭和7)、東京美術学校図画師範科を卒業した。在学中より二科展に油彩作品を出品していたが、東京美術学校で教授を務めた漆芸家六角紫水のすすめにより卒業後から漆の研究をはじめ、1933年(昭和8)、台湾総督府殖産局嘱託となり、ここで漆の研究に没頭する。翌年には、強度の高い漆膜の技法を開発し、この技法を用いて、工芸品の製作のみならず、純粹美術の領域である漆絵にも果敢に取り組んだ。

1939年(昭和14)には、ニューヨーク万国博覧会にこれまで培った技法を活かし漆器の衝立を出品し、賞賛を博した。将来を嘱望された太齋でしたが、1943年(昭和18)に応召を受け、翌年、中国の湖南省平江県において帰らぬ人となった。

本展は、2015年度にご遺族より寄贈を受けた100点以上におよぶ太齋春夫作品・資料のお披露目を意図して企画された。遺族の手によりこれまで私設の画廊では開催されたことがあったが、公立美術館では初となる回顧展である。収蔵品を中心としながら、代表的な作例およそ60点を展示した。
- 2 会 期 平成29年6月9日(金)～7月14日(金)
- 3 主 催 練馬区立美術館
- 4 助 成 公益財団法人朝日新聞文化財団
- 5 内 容 漆絵、漆絵モザイク等 60点
- 6 入 場 料 1,000円
- 7 観 覧 料 300円
- 8 イベント 三田村有純氏(漆芸家)講演会、学芸員によるギャラリートーク、漆芸体験ワークショップを開催
- 9 観覧者数 3,296人(106人/日) 当初見込 4,650人(150人/日)
- 10 担 当 学芸員 喜寿 孝臣

練馬区独立 70 周年記念

③ 生誕 150 年記念 藤島武二展 開催要項

- 1 開催趣旨

藤島武二は 1867（慶応 3）年、薩摩藩士の 3 男として鹿児島県に生まれました。17 歳で上京、川端玉章、山本芳翠らの画塾に学び、三重県津市で中学校教員を 3 年間務めたのち、1896（明治 29）年、黒田清輝の推薦で東京美術学校西洋画科の助教授に就任します。その後、晩年まで、白馬会や文展、帝展を舞台に話題作を発表し続けると同時に、アカデミズムの柱石として多くの後進を育てました。一方で、1913（大正 2）年に初めて韓国を訪れて以後、東アジアの事物を意図的に取り上げるようになり、こうした新たな視点が画壇に大きな影響を与えました。二度にわたる皇室からの揮毫依頼、第 1 回文化勲章受章など、まさにわが国を代表する洋画家として活躍しました。

今年は、藤島武二の生誕 150 年という記念の年に当たります。本展では、雑誌の挿絵や書籍の装幀などの業績を通して明治浪漫主義との関わりにもスポットを当て、また、初公開となる作品や資料を紹介し、藤島芸術の裾野の広さ再検証しました。
- 2 会 期 平成 29 年 7 月 23 日（日）～9 月 18 日（月・祝）
- 3 主 催 練馬区立美術館 東京新聞
- 4 会 場 練馬区立美術館 展示室
- 5 内 容 油彩画、スケッチ、資料など約 100 点
- 6 入 場 料 2,300 円
- 7 観 覧 料 1,000 円
- 8 観覧者数 16,869 人（337.4 人/日） 当初見込 22,500 人（450 人/日）
- 9 イベント 記念講演会、ギャラリートーク、ワークショップ、コンサート ほかに
- 10 担 当 学芸員 加藤陽介・小野寛子

※鹿児島市立美術館、神戸市立小磯記念美術館に巡回

練馬区独立 70 周年記念

④ 没後 20 年 麻田浩展 —静謐なる楽園の廃墟— 開催要項

1 開催趣旨

麻田浩（1931～97）は日本画家、麻田辨次を父に持ち、兄、鷹司（1928～87、2000年に当館で回顧展を開催）も日本画家という美術家の一家に生まれた。同志社大学経済学部に入學するものの、画家への道は捨てきれず、新制作協会に出品、在學中に初入選を果している。

1971年、39歳のときにパリに渡り、渡欧前より傾倒していたシュルレアリスムから、より幻想的な風景画に、そして生涯を通して描く“水滴”のモチーフを用いるようになった。ヨーロッパ滞在期には主に版画に軸を置き、カンヌ国際版画ビエンナーレでグランプリを獲得するなど、フランス・ドイツ・ベルギーなどで個展を開催。また、滞欧中も新制作展や安井賞展などに大作を出品し続けた。

1982年、50歳で帰国。京都に戻り、京都市立芸術大学西洋画科の教授を務めながら、水滴や羽根などの自然物を配した「原風景」とともに、「原都市」と名づけられた美しき廃墟空間を描き続ける。1995年には京都市文化功労者となり、同年に第13回宮本三郎記念賞を受賞するなど活躍を続けていたが、1997年、65歳で自ら命を絶つこととなった。

本年は麻田が没して20年という節目の年にあたる。初期から晩年まで、143点の油彩、版画作品を通し、麻田の画業を振り返る展覧会となる。

- | | |
|---------|----------------------------|
| 2 会 期 | 平成29年 9月28日（木）～11月19日（日） |
| 3 主 催 | 練馬区立美術館、日本経済新聞 |
| 4 内 容 | 油彩・版画等資料含む 143点 |
| 5 図 録 | A4判228頁 3,000円（税抜） 青幻舎より出版 |
| 6 観 覧 料 | 800円 |
| 7 イベント | 講演会、ワークショップ、ギャラリートーク |
| 8 観覧者見込 | 16,100人（350人／日） |
| 9 担 当 | 学芸員 加藤 陽介、真子 みほ |

⑤ 小野木学 絵本原画展—ぼくの中のコドモ— 開催要項

- 1 開催趣旨

小野木学（1924～1976）は、その人生の半分を練馬区で過ごした地域ゆかりの人物であり、当館所蔵作家の中で最も所蔵点数が多い画家である。東京都豊島区に生まれた小野木は、旧制中学を在学中に肺を病んだことから、23歳頃画家として生きる道を意識するようになった。独学で絵画を学び、1953年自由美術展へ油彩画を初めて出品。以後自由美術展やアンデパンダン展などで活躍した。

一方1960年代から児童書や絵本への挿絵の仕事も多く、1970年には第19回小学館絵画賞（現・小学館児童出版文化賞）を受賞している。現在も出版されている創作絵本『かたあしだちょうのエルフ』は、71年の青少年読書感想文全国コンクール課題図書にも選ばれている。これまでも当館では、小野木の様々な仕事に焦点を当てた展覧会を開催してきたが、今回は当館所蔵の挿絵や絵本原画を中心に展示し、その仕事を改めて問う試みである。
- 2 会 期 平成29年11月26日（日）～平成30年2月11日（日）
- 3 主 催 練馬区立美術館
- 4 内 容 絵本原画、油彩、パステル画など 約100点
- 5 図 録 B5判32頁の冊子を作成・販売
- 6 観 覧 料 無料
- 7 イベント ギャラリートーク、鑑賞プログラム、ワークショップほか
- 8 観覧者見込 12,400人（200人／日）
- 9 担 当 学芸員 真子みほ

⑥ 練馬区名誉区民顕彰記念 野見山暁治收藏作品展 開催要項

- 1 開催趣旨

野見山暁治氏（1920—）は東京美術学校で学び、1952年から64年にかけて渡仏し、在仏中に第二回安井賞を受賞した。帰国後は、美術界の動きと距離を置いて独自の道を歩み、1971年に練馬区にアトリエをかまえて以後、練馬を拠点の一つとして、活発に制作を続けている。

練馬区立美術館では、開館当初から野見山氏の作品を収集し、1996年に『野見山暁治展 その、動く気配の一瞬の形を一』を開催するなど野見山氏の画業を見つめてきた。現在では、所蔵品も50以上に成長し、当館を代表するコレクションの一つとなっている。

本年8月1日、板橋区からの分離・独立70周年を迎えることを契機に、野見山氏は画家では初となる練馬区名誉区民となった。これを記念し、当館で所蔵する野見山作品を一堂に会する収蔵作品展を開催する。野見山作品に親しく接し、その豊かな造形をお楽しみいただく機会としたい。
- 2 会 期 平成29年12月20日(水)～12月27日(水)
- 3 主 催 練馬区立美術館
- 4 内 容 油彩等 50点
- 5 図 録 なし
- 6 観 覧 料 無料
- 7 イベント なし
- 8 観覧者数 目標：1,400人(200人／日)
- 9 担 当 学芸員 喜寿 孝臣

練馬区独立 70 周年記念

⑦ サヴィニャックーパリにかけたポスターの魔法展 開催要項

- 1 開催趣旨 フランスを代表するポスター作家であるレイモン・サヴィニャック（1907－2002）の回顧展を開催する。
サヴィニャックは、第二次世界大戦後、フランスにおけるポスターの伝統であった装飾的な様式を一新し、ユーモアとエスプリにあふれ、瞬時に人の心を射抜くスタイルを編み出した。インパクトがあり陽気でシンプルなポスターは人気を集め、シトロエン、ミシュラン、モンサヴォン、ロレアルなど多くのフランスの広告主がサヴィニャックを起用し、街はサヴィニャックのポスターで溢れた。日本でも、その評判を聞きつけた広告主が、ポスターを依頼している。
本展では、フランスのフォルネイ図書館のコレクションを中心に、大型ポスターなどを含む 200 点近いサヴィニャックの作品群を一同に展覧する。併せて、サヴィニャックのポスターが写っている当時のパリの街角の写真や、書簡や写真などにより、ポスターというメディアを操った魔術師サヴィニャックの魅力を紹介する。
- 2 会 期 平成 30 年 2 月 22 日(木)～4 月 15 日(日)
- 3 主 催 練馬区立美術館、美術館連絡協議会、読売新聞社
- 4 後 援 在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ日本（予定）
- 5 協 賛 ライオン、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜、日本テレビ放送網
サントリーホールディングス ほか
- 6 協 力 としまえん（予定）
- 7 内 容 ポスター、ポスター原画、書籍など 計約 200 点
- 8 図 録 制作予定
- 9 観 覧 料 800 円
- 10 観覧者見込 32,200 人（700 人／日）
- 11 イベント 講演会、ギャラリートーク、ワークショップ、コンサートなど
- 12 担 当 学芸員 小野寛子

※巡回予定：宇都宮美術館、三重県立美術館、兵庫県立美術館、広島県立美術館

(2) 教育普及事業 (中間報告)

平成29年度 教育普及事業計画(案)

平成29年10月20日現在

館内事業

I) 展覧会関連 (各展覧会を楽しむ)

① 関連ワークショップ・講座

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員	参加人数
1	パリ展関連ワークショップ「絵から生まれるアクセサリー」 講師:松田 かや (自然物造形作家)	5月28日(日)【A】10:30~12:30 【B】14:00~16:00	2	小学生以上	各回 20名	32
2	太齋春夫展関連ワークショップ「金で作る漆のアクセサリー」 講師:三田村雨龍 (木漆芸家)	6月10日(土)10:30~17:00	1	中学生以上	15名	15
3	藤島武二展関連ワークショップ 「はだのいろってどんな色?アクリル絵具を重ねて色を作ろう」 講師:当館学芸員	8月3日(木)【A】10:30~12:30 【B】14:00~16:00 8月4日(金)【C】10:30~12:30 【D】14:00~16:00	4	小学生	各回 10名	39
4	藤島武二展関連美術講座 「藤島さんをマネしよう!アクリル絵具で楽しい自由模写」 講師:板倉 知恵 (絵画造形教室主宰)	8月5日(土)・6日(日) 10:30~17:00	1 (2日間)	小学4年~ 中学3年生	15名	8
5	藤島武二展関連美術講座 「油彩画を描こう キャンバス張りから絵具の使い方まで」 講師:三浦 高宏 (画家)	8月15日(火)・16日(水) 10:30~17:00	1 (2日間)	小学5年~中 学3年生	15名	14
6	藤島武二展関連ワークショップ「自分の横顔を描いてみよう!」 講師:安部 睦 (イラストレーター)	8月19日(土)【A】10:30~12:30 【B】14:00~16:00	2	小学1~3年 生	各回 10名	20
7	麻田浩展関連 貫井図書館×練馬区立美術館ワーク ショップ 「麻田さんの絵を見てコラージュしよう!-切って貼って作品作り」 講師:藤田 百合 (女子美術大学非常勤講師、エドゥケーター)	10月8日(日) 13:30~16:30	1	小学生以上	20名	14
8	麻田浩展関連美術講座 版画「カラーエッチングに挑 戦」 講師:岡 さなえ (版画家)	10月14日(土)・15日(日) 10:30~17:00	1 (2日間)	中学生以上	15名	15
9	小野木学展関連 貫井図書館×練馬区立美術館ワーク ショップ 「読み聞かせと『かたち』の絵づくり」 講師:図書館職員、真子 みほ (当館学芸員)	12月16日(土)【A】10:30~12:30 【B】14:00~16:00	2	5歳~ 小学2年生	各回 15名	—
10	小野木学展関連ワークショップ「簡単しりとり絵本」 講師:真子 みほ (当館学芸員)	1月20日(土)・21日(日) 【A】10:30~11:30 【B】13:30~14:30 【C】15:30~16:30	6	小学生以上	各回 8名	—
11	小野木学展関連美術講座「絵本作り」 講師:山口 茉莉 (版画家)	1月	1 (2日間)	中学生以上	15名	—
12	サヴィニャック展関連講義+ワークショップ「デザインにつ いて」 講師:中村 将大 (東洋美術学校講師)	3月25日(土)	1 (2日間)	中学生以上	30名	—
13	サヴィニャック展関連ワークショップ「ポスターデザイン」 講師:真子 みほ (当館学芸員)	3月26日(日)10:30~16:00	1	小学4年生~ 中学生	15名	—

② ギャラリートーク

	事業名	開催日	回数	対象	定員	参加人数
1	パリ展	4月21日(金)、5月24日(水)25日(木)、6月1日(木)15:00～	4	自由参加	—	413
2	太齋春夫展	6月22日(木)15:00～15:30	1	自由参加	—	30
3	藤島武二展	8月31日(木)15:00～	1	自由参加	—	101
4	麻田浩展	10月7日(土)、11月4日(土)15:00～	2	自由参加	—	99
5	小野木学展	11～2月	2	自由参加	—	—
6	サヴィニャック展	2～3月	2	自由参加	—	—

③ コンサート・ライブパフォーマンスなど

	事業名	開催日	回数	対象	定員	参加人数
1	パリ展関連 朗読と音楽の公演 「フルーツ～カミーユ・クローデルに捧ぐ～」 出演:若村 麻由美 ほか	4月29日(土)、30日(日)18:30～	2	チケット購入者	—	137
3	藤島武二展記念コンサート 出演:田口雅人(ヴァイオリン) 渚智佳(ピアノ)	7月29日(土)15:00～16:00	1	自由参加	—	113
4	麻田浩展記念コンサート 出演:伊藤万桜(ヴァイオリン)、山崎里登美(ピアノ)	11月3日(金祝)15:00～16:00	1	自由参加	—	156
5	小野木学展関連パフォーマンス	未定	1	自由参加	—	—
6	サヴィニャック展	未定	未定	自由参加	—	—

④ 鑑賞プログラム

	事業名	開催日	回数	対象	定員	参加人数
1	太齋春夫展関連 トコトコ美術館 テーマ:しかく 講師:真子 みほ (当館学芸員)	6月25日(日)【A】10:30～12:30 【B】14:00～16:00 7月8日(土)【C】10:30～12:30 【D】14:00～16:00 7月9日(日)【E】10:30～12:30 【F】14:00～16:00	6	3歳～6歳 +保護者 小学1・2年生 +保護者	各回 5組	24組 50名
2	麻田浩展関連 トコトコ美術館 テーマ:みず 講師:真子 みほ (当館学芸員)	9月30日(土)【A】10:30～12:30 【B】14:00～16:00 10月1日(日)【C】10:30～12:30 【D】14:00～16:00	4	3歳～6歳 +保護者	各回 5組	19組 42名
3	麻田浩展関連 あかちゃん鑑賞会 講師:富田 めぐみ (NPO法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会)	10月21日(土)【A】10:30～12:00 【B】13:30～15:00	2	0～2歳の赤ちゃんとその家族	各回 20名	8組 24名
4	小野木学展関連 トコトコ美術館 テーマ:とり 講師:真子 みほ (当館学芸員)	12月2日(土)【A】10:30～12:30 【B】14:00～16:00 12月3日(日)【C】10:30～12:30 【D】14:00～16:00 12月10日(日)【E】10:30～12:30 【F】14:00～16:00	6	3歳～6歳 +保護者 小学1・2年生 +保護者	各回 5組	—

⑤ 講演会など

	事業名	開催日	回数	対象	定員	参加人数
1	パリ展関連特別講演会 「オスマン大改造以前・以後のパリについて」 講師:鹿島 茂 (明治大学教授、フランス文学者)	5月13日(土)15:00～16:30	1	中学生以上	70名	77
2	パリ展関連特別講演会「美術と建築から見るオペラ座」 講師:喜多崎 親 (成城大学教授)	5月14日(日)15:00～16:30	1	中学生以上	70名	62
3	パリ展関連特別講演会 「パリジェンヌの発見—首都の華とモード」 講師:深井 晃子 (京都服飾文化研究財団理事、名誉キュレーター)	5月20日(土)15:00～16:30	1	中学生以上	70名	61
4	太齋春夫展関連講演会「漆の魔術師 太齋春夫」 講師:三田村 有純 (東京藝術大学参与、名誉教授)	7月1日(土)14:30～16:00	1	中学生以上	70名	64
5	藤島武二展関連特別講演会「藤島とイタリアの魅力」 講師:高階 秀爾 (大原美術館館長・東京大学名誉教授)	7月30日(日)15:00～16:30	1	中学生以上	70名	69
6	藤島武二展関連特別講演会「藤島芸術の装飾性」 講師:島田 紀夫 (実践女子大学大学名誉教授・ブリジストン美術館前館長)	8月20日(日)15:00～16:30	1	中学生以上	70名	68
7	麻田浩展関連特別講演会「麻田浩をめぐる」 講師:粟津 則雄 (美術評論家)	10月22日(日)15:00～16:30	1	中学生以上	70名	48
8	麻田浩展関連特別講演会「麻田浩再考」 講師:山野 英嗣 (和歌山県立近代美術館館長)	10月28日(土)15:00～16:30	1	中学生以上	70名	30
9	小野木学展関連 貫井図書館×練馬区立美術館 「所蔵作家の挿し絵の仕事～作家紹介と本を見る会」 講師:真子 みほ (当館学芸員)	2月3日(土)14:00～15:30	1	中学生以上	30名	—
10	サヴィニャック展	未定	2	中学生以上	70名	—

Ⅱ) 美術講座 (美術に関する知識を学ぶ)

	事業名	開催日	回数	対象	定員	参加人数
2	〈美術講座〉彫刻 講師:未定	2月	1 (2日間)	中学生以上	16名	—

Ⅲ) 美術館を楽しむワークショップ(人が集う「場」作り)

	事業名	開催日	回数	対象	定員	参加人数
1	四季のみじたく シリーズ33 夏のみじたく 講師:村松 啓市 (ニットデザイナー)	7月2日(日)【A】10:30～12:30 【B】14:00～16:00	2	小学4年生以上	各回15名	21
2	美術館をつかまえる!?館内探検とフロッタージュ 講師:真子 みほ (当館学芸員)	7月29日(土)【A】10:30～12:00 7月30日(日)【B】10:30～12:00 【C】14:00～15:30	3	5歳～ 小学2年生	各回10名	25
3	四季のみじたく シリーズ34 秋のみじたく 講師:中澤 季絵 (イラストレーター)	9月17日(日)10:30～17:00	1	小学4年生以上	20名	14
4	四季のみじたく シリーズ35 冬のみじたく 講師:青山 佳世 (テキスタイルデザイナー)	11月26日(日)10:30～17:00	1	小学4年生以上	20名	—
5	四季のみじたく シリーズ36 春のみじたく 講師:未定	3月	1	小学4年生以上	20名	—

学校関連事業

I) スクールプログラム

パンフレットを作成し各学校に配布。

	回数	参加人数
① 団体鑑賞 美術館担当者がマナーの説明や展示解説を行い鑑賞のお手伝いをする	15	653
② 施設見学 各学校の学習目的に合わせて館内(バックヤードを含む)を案内し、施設を紹介する	4	68
③ 職場体験・訪問 受付や事務、監視、学芸などいくつかの仕事を体験させ、美術館全体の役割を伝える	10	32
④ 出張プログラム 担当者が学校へ赴きコレクションや開催中の展覧会に関連した授業のお手伝いをする	6	457

II) ティーチャーズデイ

当館及び当館主催の展覧会を、授業等で活用していただくために、区内の小中高等学校の先生を対象とした展覧会鑑賞日を設ける。

各回ともに展示担当学芸員(または教育普及担当)による展示解説を30分程度行い、その後は自由鑑賞とする。

平成29年度は6回開催する。

	展覧会名	参加人数
1	パリ展	13
2	太齋春夫展	11
3	藤島武二展	12
4	麻田浩展	9
5	小野木学展	—
6	サヴィニャック展	—

III) スクールミュージアム

美術館の所蔵作品を学校の授業に役立ててもらうため、紙製の図版カード(トランプ大)、マグネットシート(A4版/A3版)、専用パネルの貸し出しを行う。これらのツールは、平成18年文化庁芸術拠点形成事業助成を受け、当館の所蔵作品から104点を選出し、作成された。